

ZENRIN

証券コード：9474

2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年11月14日

株式会社ゼンリン

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

執行役員コーポレート本部長

松尾 正実

Maps to the Future

2014年3月期 第2四半期決算説明会

1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

2. 2014年3月期 業績予想

3. 利益配分

4. 『ZGP2015』進捗状況

Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競争状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。

また、増減率が1000%を超える場合や、比較対象の一方若しくは両方がマイナスの場合は「－」表記しております。

1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) セグメント情報
- 5) キャッシュ・フロー推移

Appendix① 2014年3月期 第2四半期決算概要

- ・設備投資額・減価償却費・研究開発費
- ・四半期売上高構成比 推移

1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

2014年3月期 第2四半期決算説明会

1) 決算概要

◆2014年3月期 第2四半期決算のポイント

前年同期比、業績予想比< 減収減益 >

- ・売上高は、ITS事業が国内新車販売におけるエコカー補助金の反動減や軽自動車へのシフトの影響、カーナビゲーション市場における低価格モデルへの構成変化などにより減少。
- ・損益面では減収の影響により各利益で減益。前年同期比では、データベース整備やスマートフォン向けサービス等に係わる先行費用が増加。

単位:百万円

	2013年3月期 Q2実績	2014年3月期 Q2予想 (5/8)	2014年3月期 実績	前年	増減	予想比	増減
				同期比	率 %	(5/8)	率 %
売上高	25,849	25,200	24,010	△1,839	△7.1	△1,189	△4.7
営業費用	23,283	24,400	23,970	686	2.9	△429	△1.8
営業利益	2,565	800	39	△2,526	△98.5	△760	△95.1
営業利益率	9.9%	3.2%	0.2%	△9.7pt	—	△3.0pt	—
経常利益	2,735	900	225	△2,510	△91.8	△674	△75.0
経常利益率	10.6%	3.6%	0.9%	△9.7pt	—	△2.7pt	—
四半期純利益	1,161	200	△250	△1,412	—	△450	—

※2013年10月22日に公表いたしました修正値から大きな変更はございません。

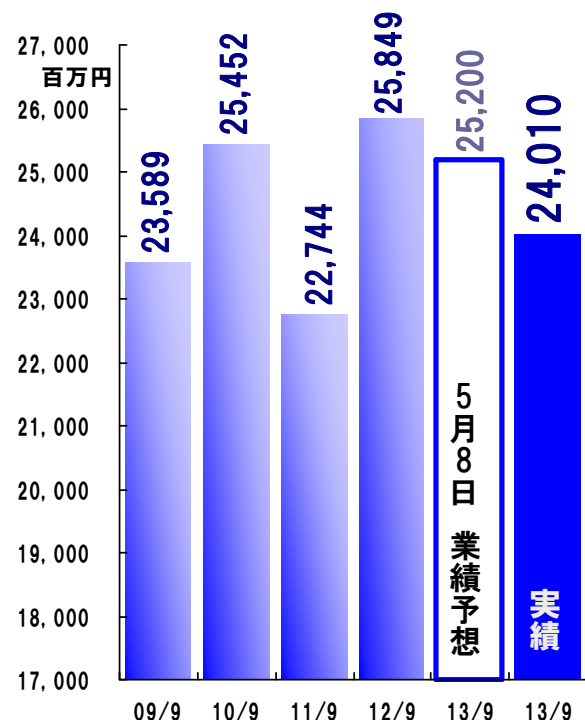
1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

2014年3月期 第2四半期決算説明会

2) 売上高・利益の推移

売上高

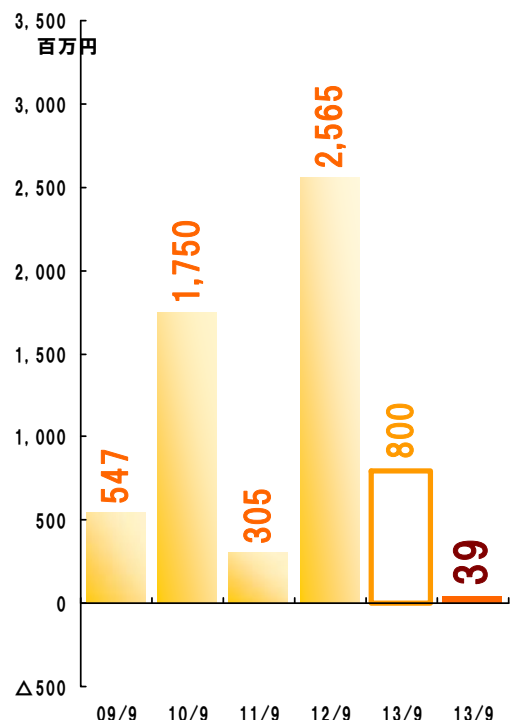
前年同期比	1,839減少 (△7.1%)
業績予想比	1,189減少 (△4.7%)



減収(2期ぶり)

営業利益

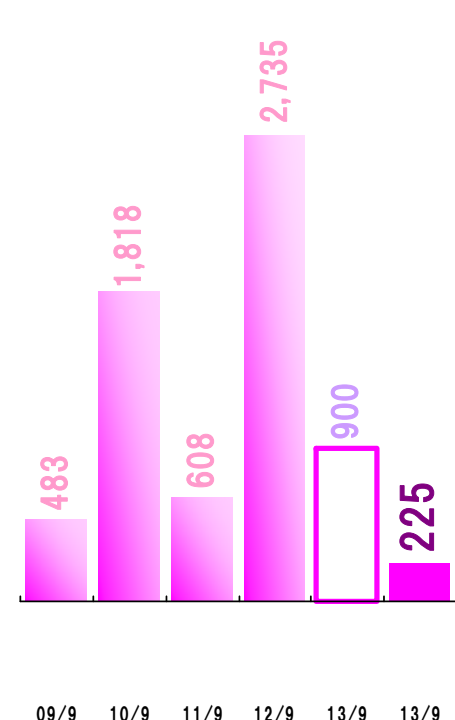
前年同期比	2,526減少 (△98.5%)
業績予想比	760減少 (△95.1%)



減益(2期ぶり)

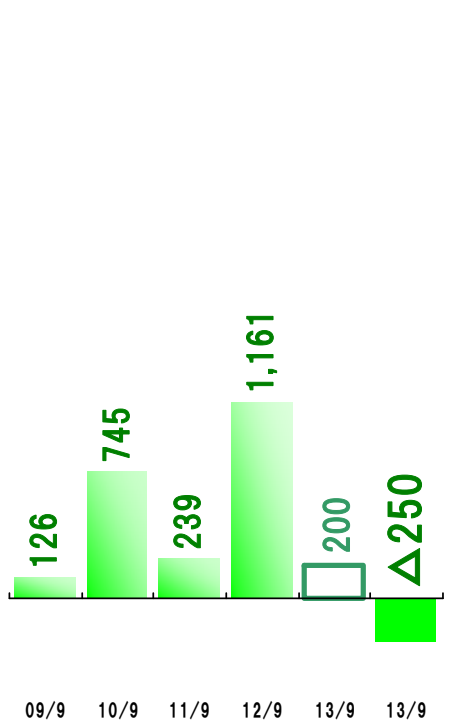
経常利益

前年同期比	2,510減少 (△91.8%)
業績予想比	674減少 (△75.0%)



四半期純利益

前年同期比	1,412減少 (—)
業績予想比	450減少 (—)

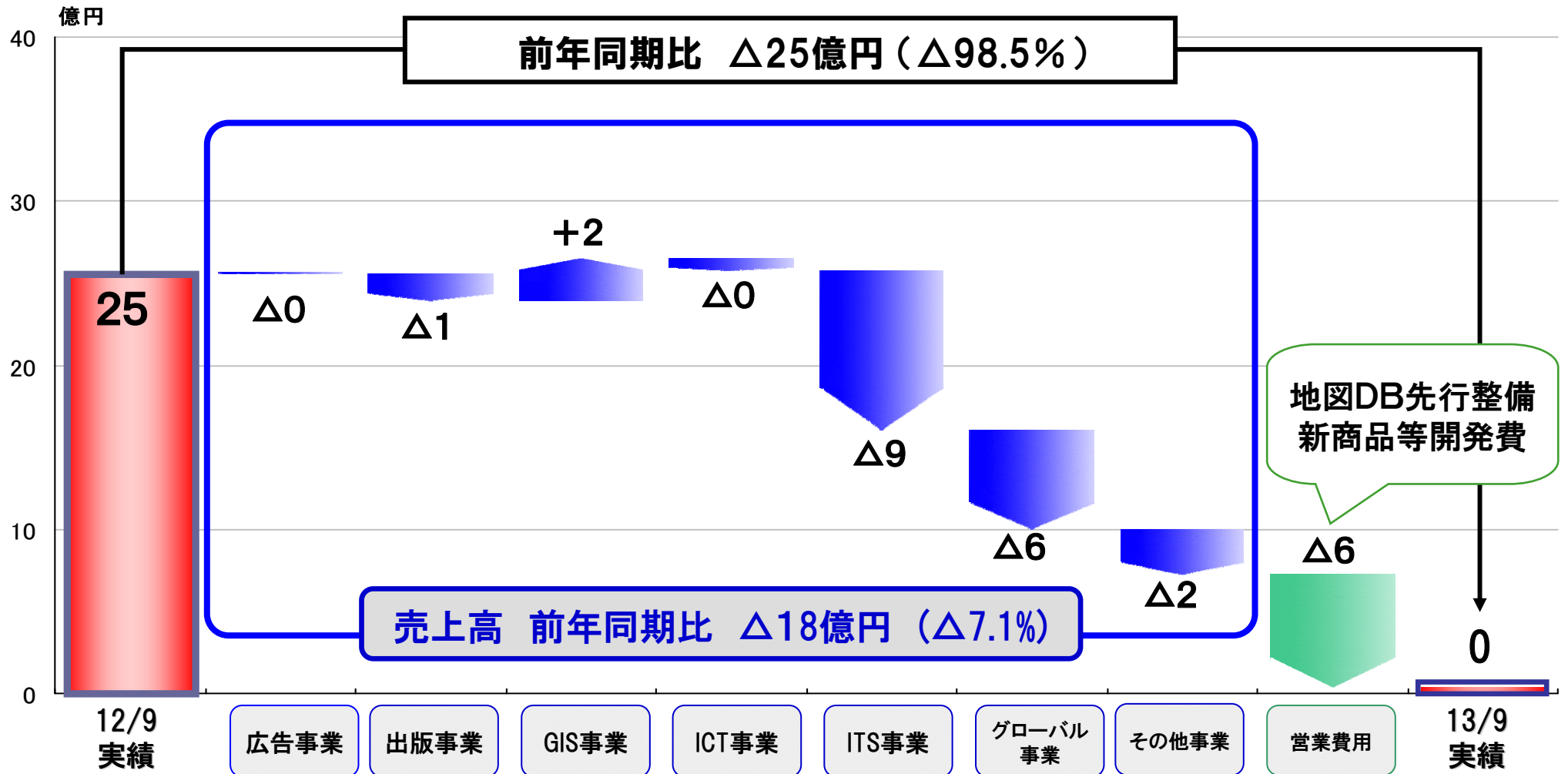


前期利益→損失

※2013年10月22日に公表いたしました修正値から大きな変更はございません。

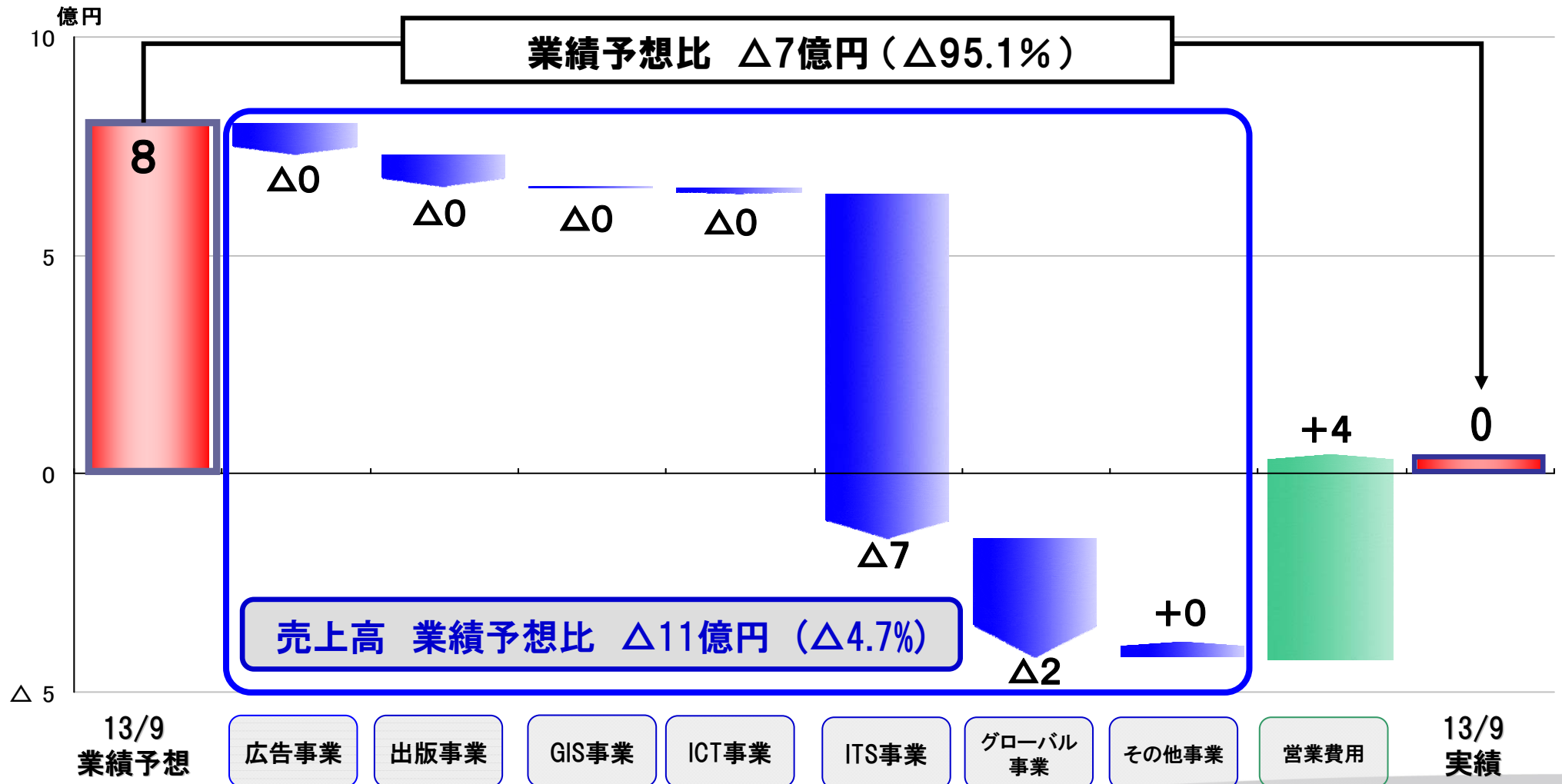
1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

3)-1 営業利益増減要因(前年同期比)



1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

3)-2 営業利益増減要因(業績予想比)



4)-1 セグメント情報

売上構成
比率

85.2%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



7.9%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



6.9%

3. その他

主要品目等：仕入商品、ノベルティ商品、CAD受託処理



4)-2 地図データベース関連事業

売上高

営業利益



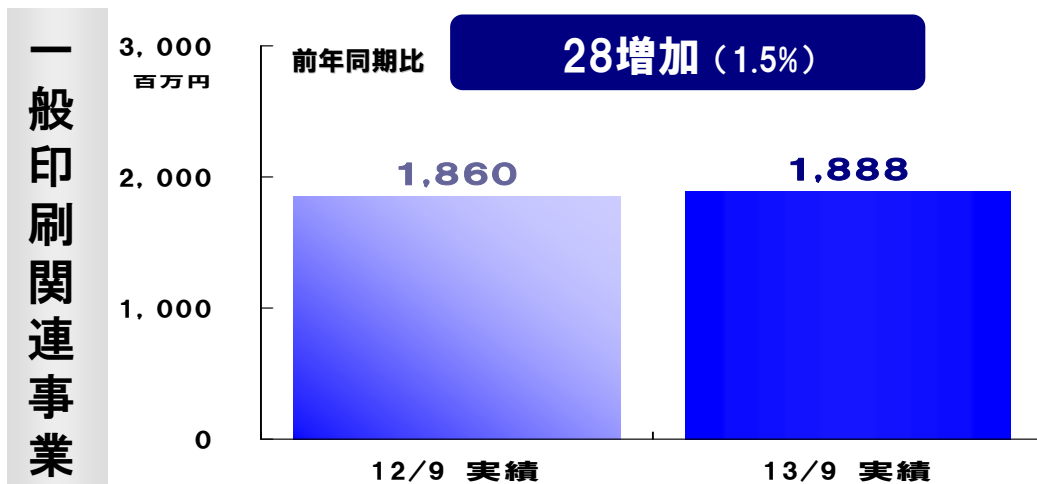
前
年
同
期
比

- 住宅地図データベースを活用したGIS事業の売上は堅調に推移。
- 国内新車販売がエコカー補助金の反動減や軽自動車へシフト、カーナビゲーションの低価格モデルへの構成変化や北米向けの採用モデルの切り替えなどで、ITS事業及びグローバル事業の売上が減少。

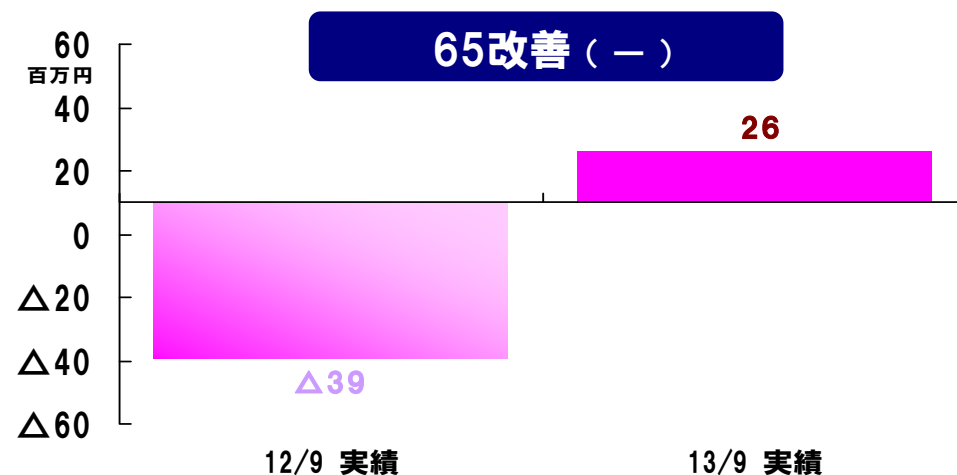
1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

4)-3 一般印刷関連事業・その他

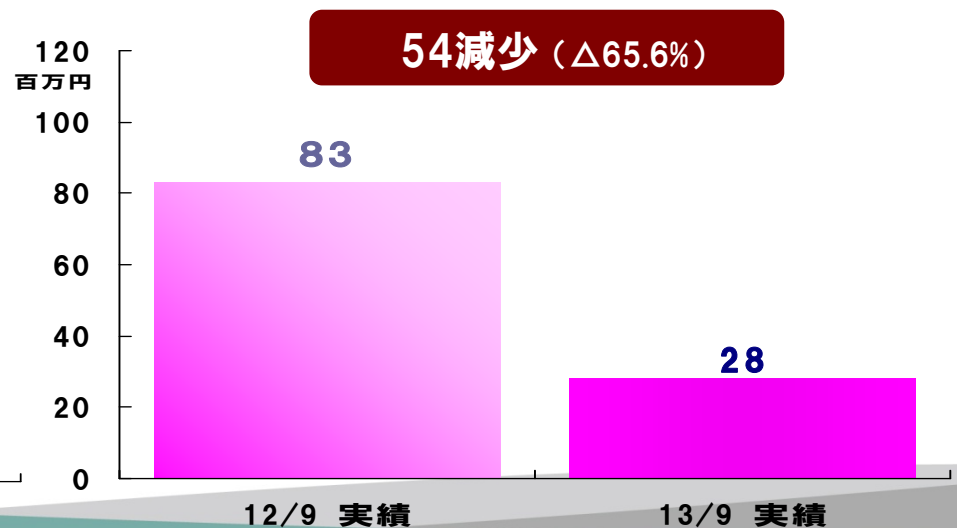
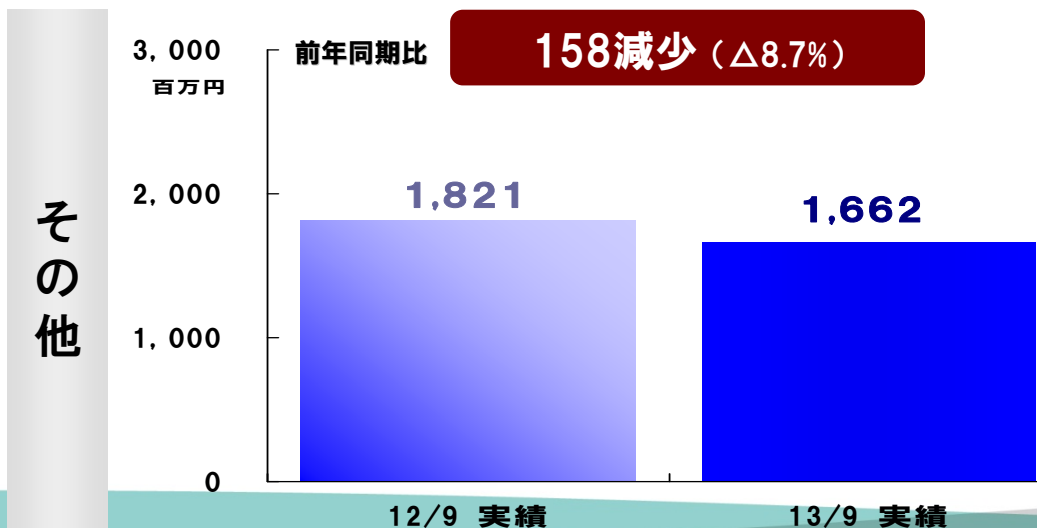
売上高



営業利益

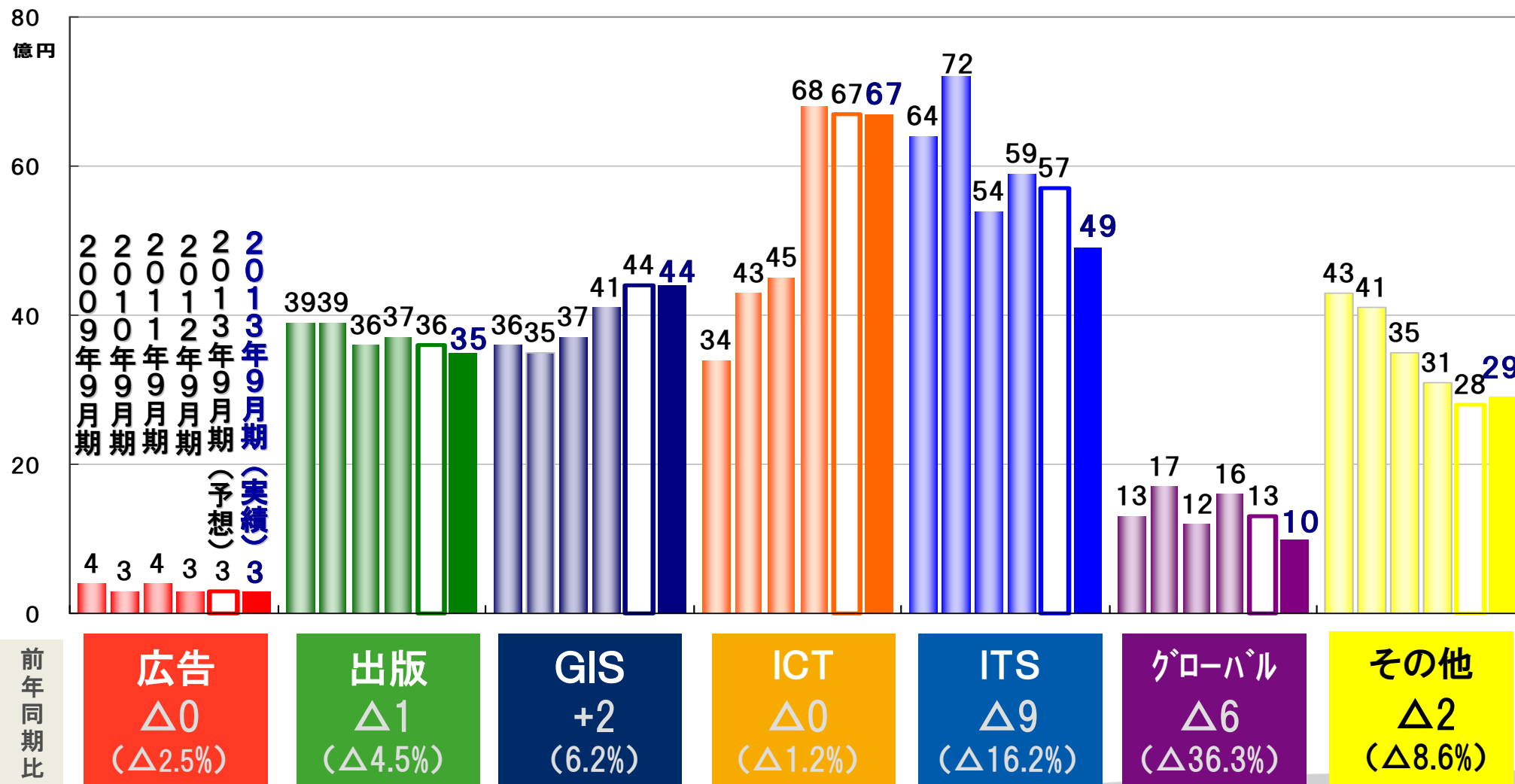


その他



1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

4)-4 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別売上高



1. 2014年3月期 第2四半期決算概要

5) キャッシュ・フロー推移

営業CF

3,439収入減少

投資CF

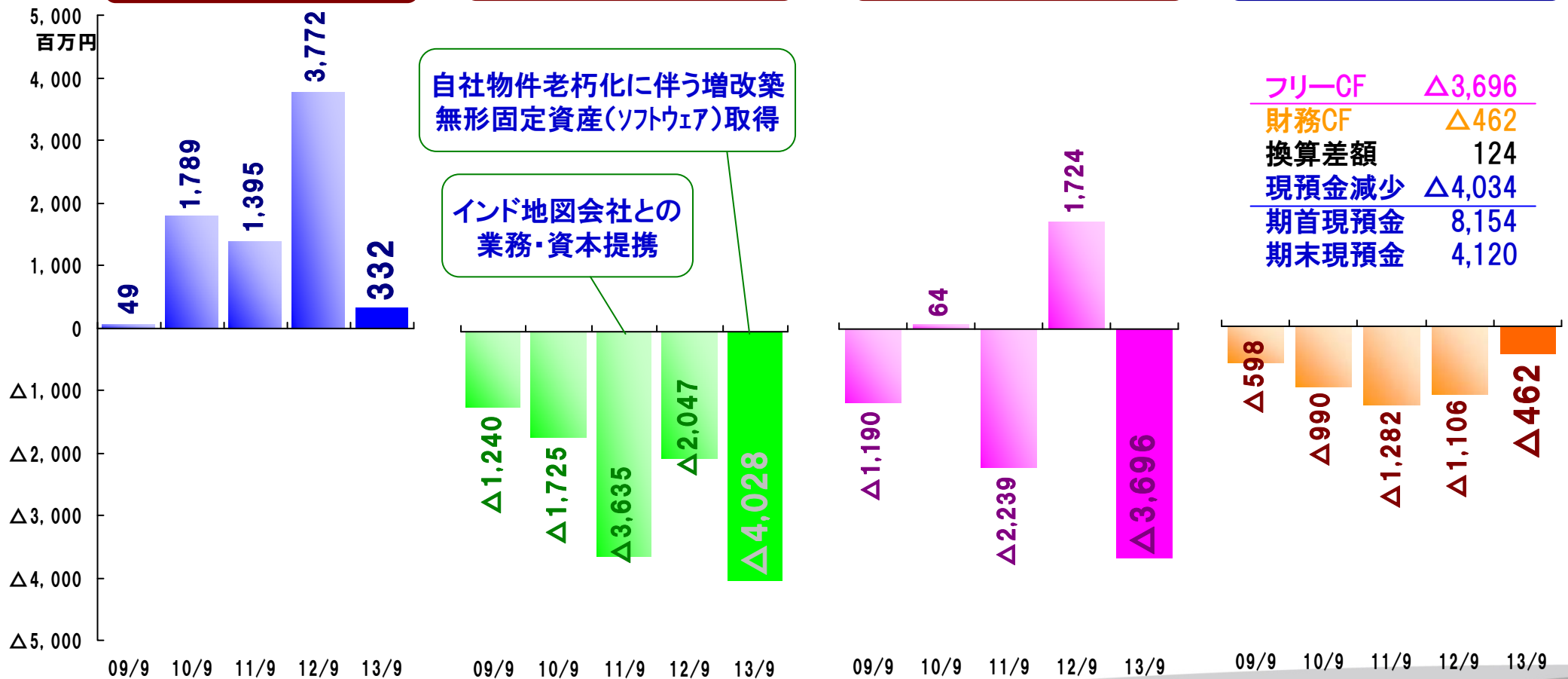
1,981支出増加

フリーCF

5,421支出増加

財務CF

643支出減少



2. 2014年3月期 業績予想

1) 業績予想の概要

Appendix② 2014年3月期 業績予想の概要

- ・売上高・利益の推移
- ・営業利益増減要因（前期比）
- ・セグメント情報
- ・設備投資額・減価償却費・研究開発費

2. 2014年3月期 業績予想

1) 業績予想の概要(通期)

◆2014年3月期 通期業績予想について

現段階においては、2013年5月8日に公表した通期業績予想を据え置く。

ITS事業の売上など、足元の事業環境における不透明感は払拭できない状況ではあるが、生産性改善や経費節減に取り組み、今後の事業展開に不可欠な時空間データベース整備など、先行開発を着実に進める。

(5月8日公表時)前期比< 増収減益 >

- ・売上高はICT事業が堅調に推移し、GIS事業の新商品展開により増収を見込む。
- ・時空間DB及び新規地図DBの整備費用や新商品開発費用が先行するため営業費用が増加。

単位:百万円

	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想	前期比	増減率 %
売上高	54,991	56,000	1,008	1.8
営業費用	49,406	50,800	1,393	2.8
営業利益	5,585	5,200	△385	△6.9
営業利益率	10.2%	9.3%	△0.9pt	—
経常利益	5,076	5,500	423	8.3
経常利益率	9.2%	9.8%	0.6pt	—
当期純利益	1,835	2,500	664	36.2

※予想は2013年5月8日の発表値を据え置いています。

3. 利益配分

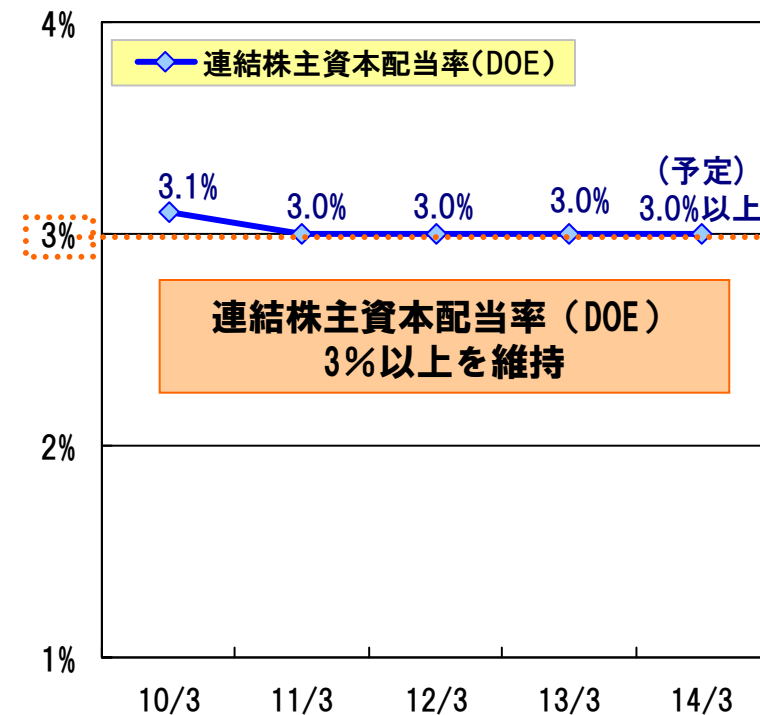
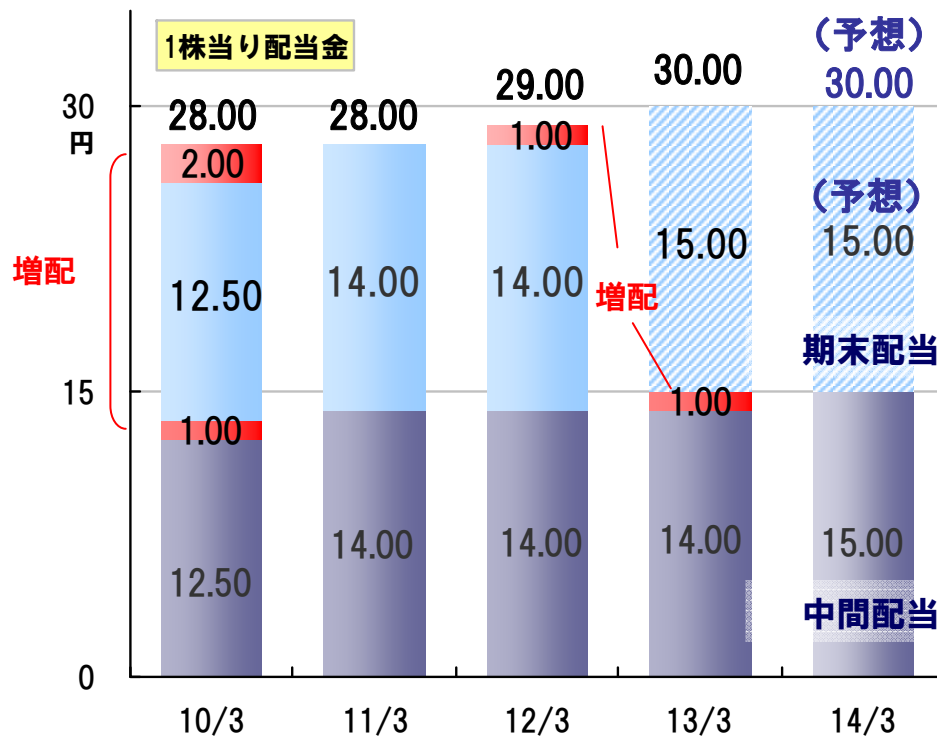
- 1) 配当金
- 2) 自己株式の取得

3. 利益配分

1) 配当金

基本方針：適正な内部留保を考慮しつつ連結ベースの利益水準に応じた利益還元を実施

中間配当金：15円（当初予定どおり）
年間配当金：30円（予想）



2) 自己株式の取得

自己株式の取得に関するお知らせ(2013年10月31日開示・抜粋)

2013年10月31日開催の取締役会決議による自己株式取得枠設定

- (1) 取得対象株式の種類 : 普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 : 100万株 (上限)
- (3) 株式の取得価額の総額 : 15億円 (上限)
- (4) 取得期間 : 2013年11月1日(金)~2014年3月31日(月)

自己株式取得の実施	2013年9月30日	100万株取得後
発行済株式数(自己株含む)	38,200,910株	38,200,910株
2013年11月以降取得株式数	—	1,000,000株
自己株式数	1,435,293株	2,435,293株
保有割合	3.8%	6.4%

※当社は2010年5月より「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入しております。
上記の2013年9月末の自己株式数には、野村信託銀行株式会社（ゼンリン従業員持株会専用信託口）が保有する当社株式は含めておりません。

4. 『ZGP2015』進捗状況

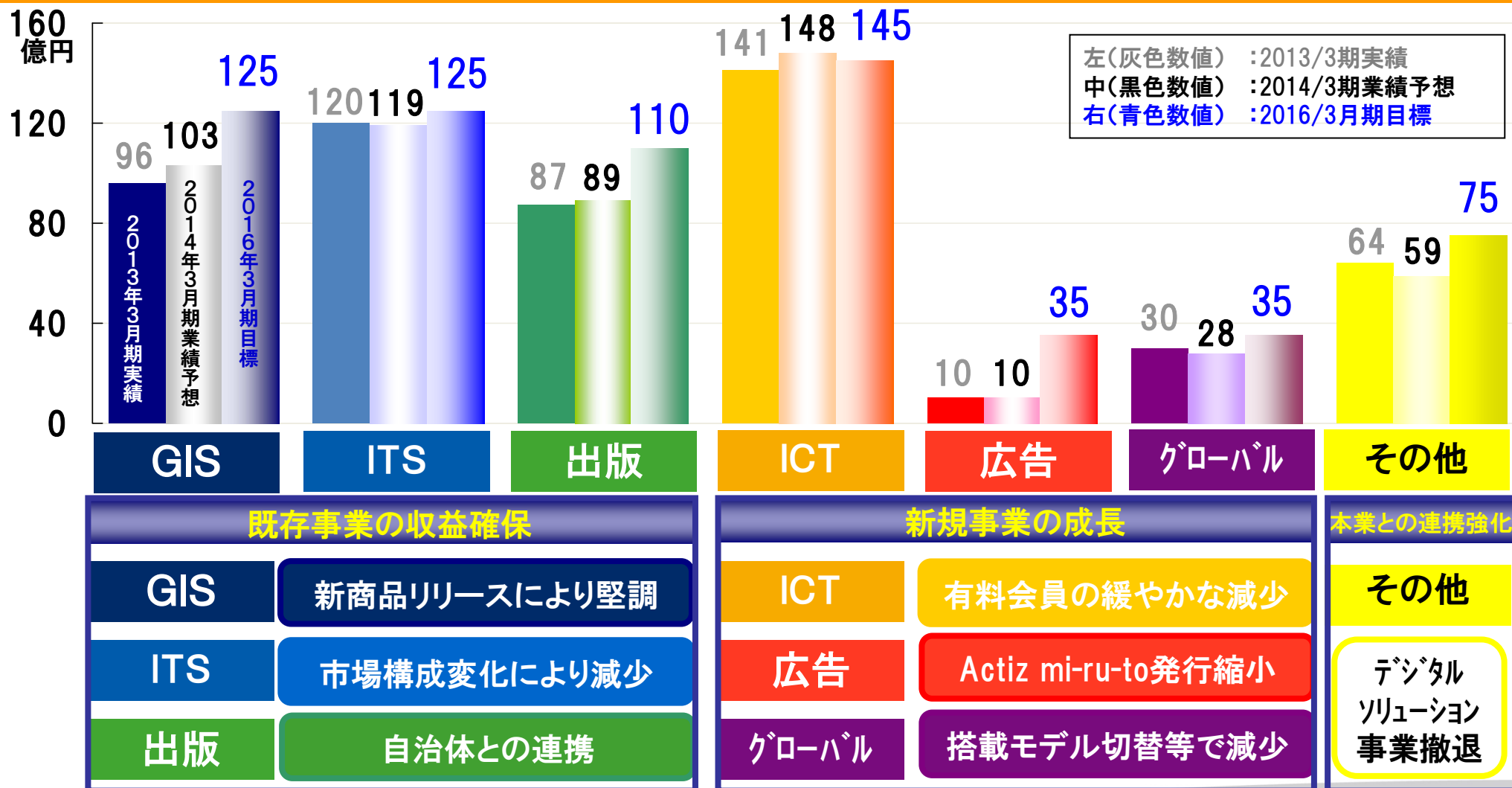
- 1) ZGP2015の前提と現状
- 2) 事業トピック
- 3) 時空間DB構築
- 4) Viewmap DB整備

Appendix③ ZGP2015の進捗

- 基本構成と数値目標
- 事業戦略並びに進捗状況（各事業）
- 時空間DBとViewmap DBの先行投資

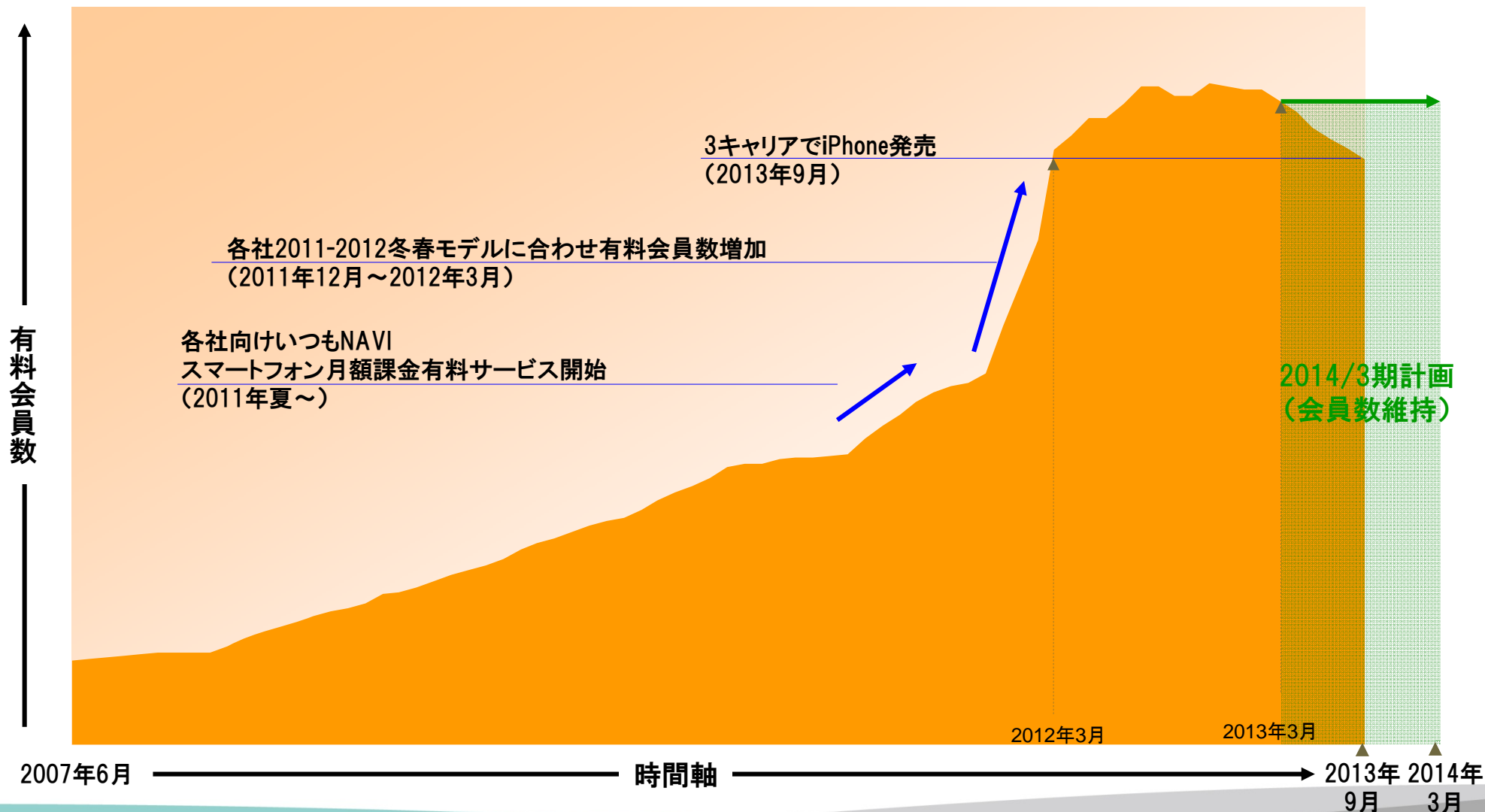
4. 『ZGP2015』進捗状況

1) ZGP2015の前提と現状



4. 『ZGP2015』進捗状況

2)-1 (ICT事業)いつもNAVI有料会員数イメージ



2)-2 (出版事業)自治体との連携

災害時における協力関係を構築するための協定

これまでの利用用途



自治体との連携協定



当社の役割／情報活用

平時利用



施設管理
公共工事
納税業務
資産管理

窓口サービス 等

自治体の取り組み

防災・減災

防災訓練(避難路検討等)
災害発生時に即時に地図利用
災害時に必要な情報の蓄積

地図の貸与

- 住宅地図帳
- 住宅地図配信サービス
- 地図複製許諾
- 広域図

非常時(地震、大雨等)

【初期対応】

安否、被害状況確認
救援活動

【復旧、復興】

都市計画
建設現場確認



【自治体との協定】

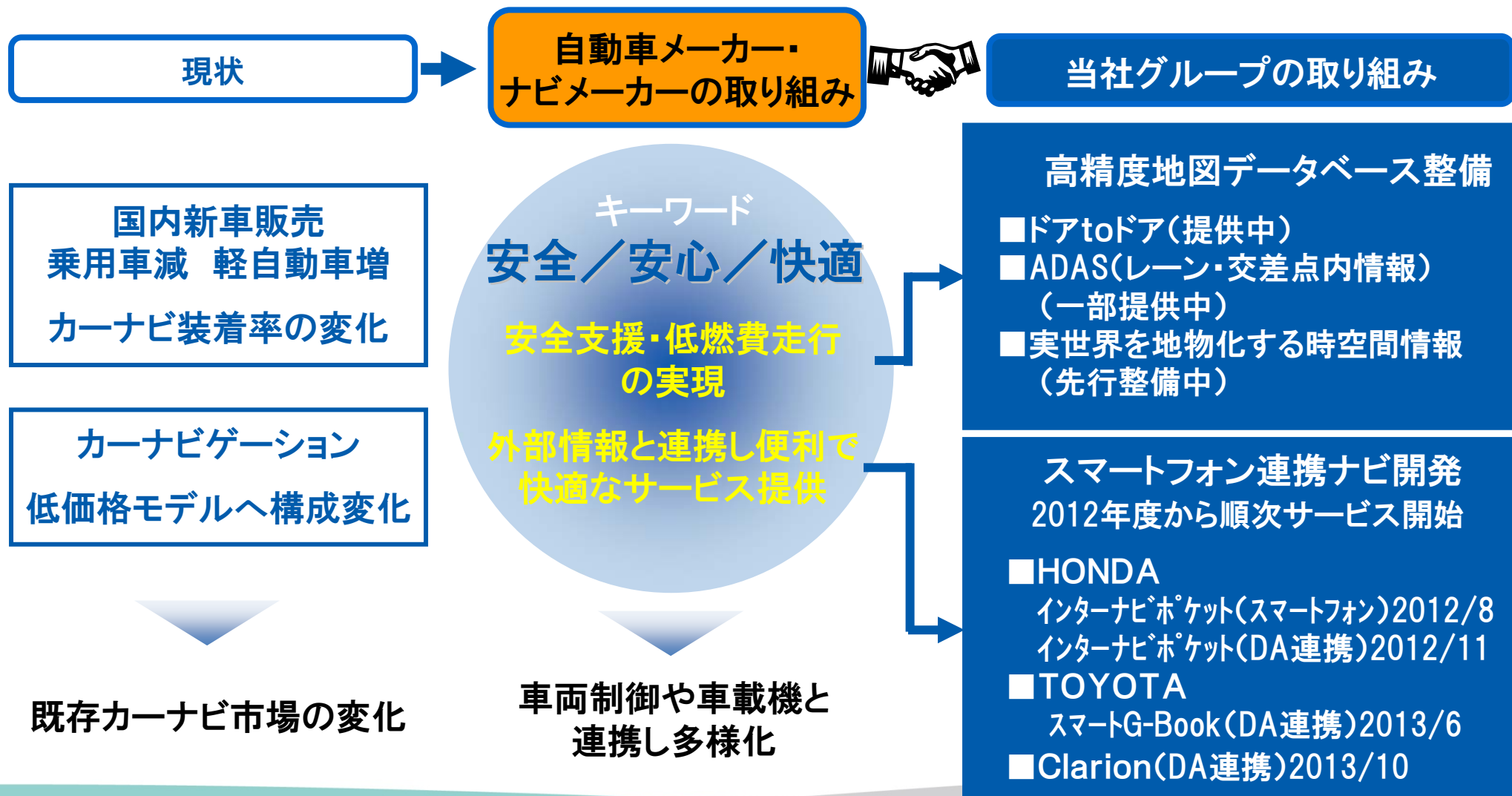
- ・神奈川県横浜市(2013/9締結)
- ・三重県熊野市(2013/9締結)
- ・東京都稲城市(2013/10締結)

防災・災害時に必要な 情報交換

- 災害対応に役立つ地図創出
- 防災訓練等で得られた
地図の要望、利用方法等
の情報交換

継続的地図利用の提案
新たな地図利用の提案

2)-3 (ITS事業)市場構成変化への対応



3) 時空間DB構築

ITSの高精度地図情報、防災・減災に役立つ情報をはじめ、膨大な情報の中から価値ある情報提供を実現する時空間DB

時空間DBを地図化して提供

時空間DBによって実現する価値

ZENRINのフィルターを通して最適化

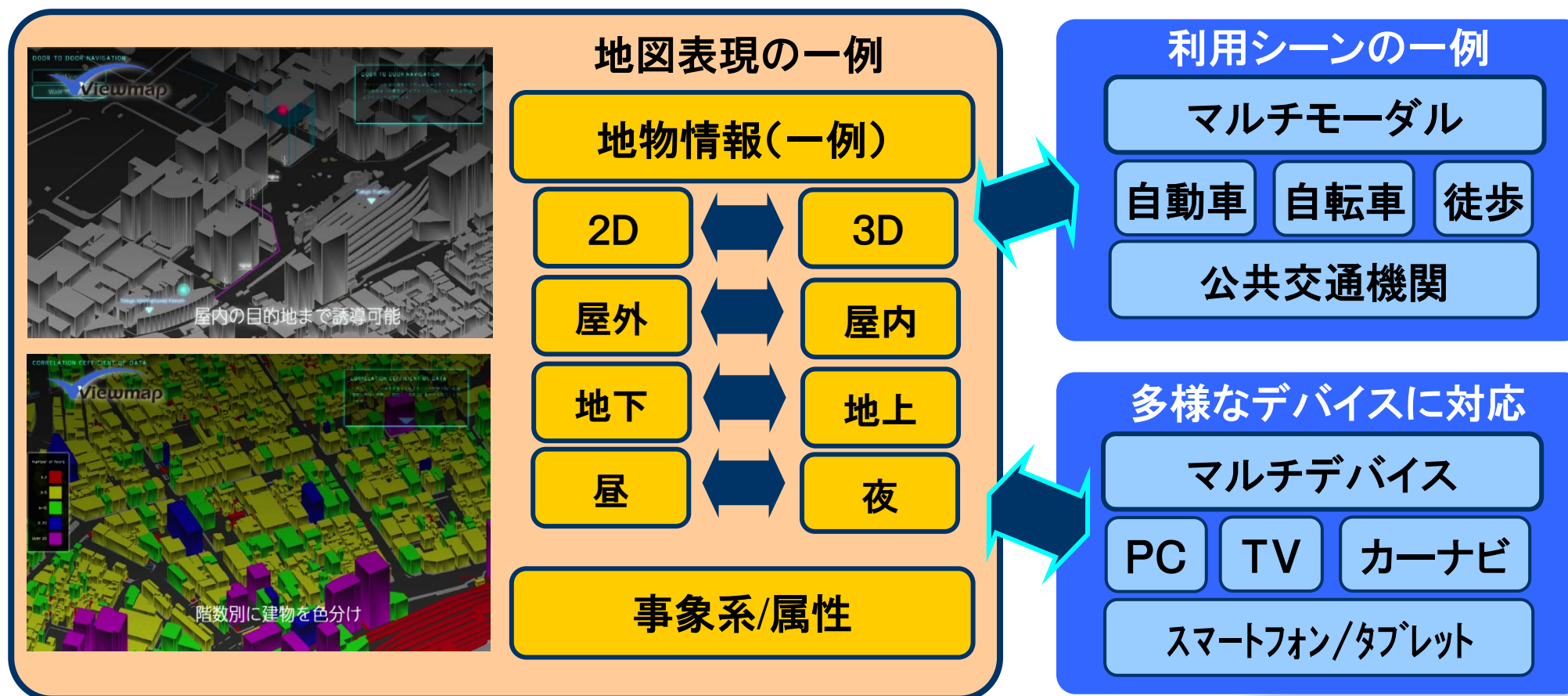
時空間情報(地物・時間情報)
事象系情報をはじめとした
あらゆる情報を整理して管理

現実世界の様々な情報
【時空間情報、事象系情報】

- 欲しい情報にすぐにたどりつく
【利便性向上】
- 埋もれている情報群から気づきを喚起
【行動支援】
- 情報解析によるサービス創造
【事業支援】
- 簡便化された地図活用
【スピード化、効率化】

4) Viewmap DB整備

新たな地図表現と情報の最適化により
多様化する利用シーンに柔軟に対応できる地図



Appendix

①2014年3月期 第2四半期決算概要

- ・ 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- ・ 四半期売上高構成比 推移

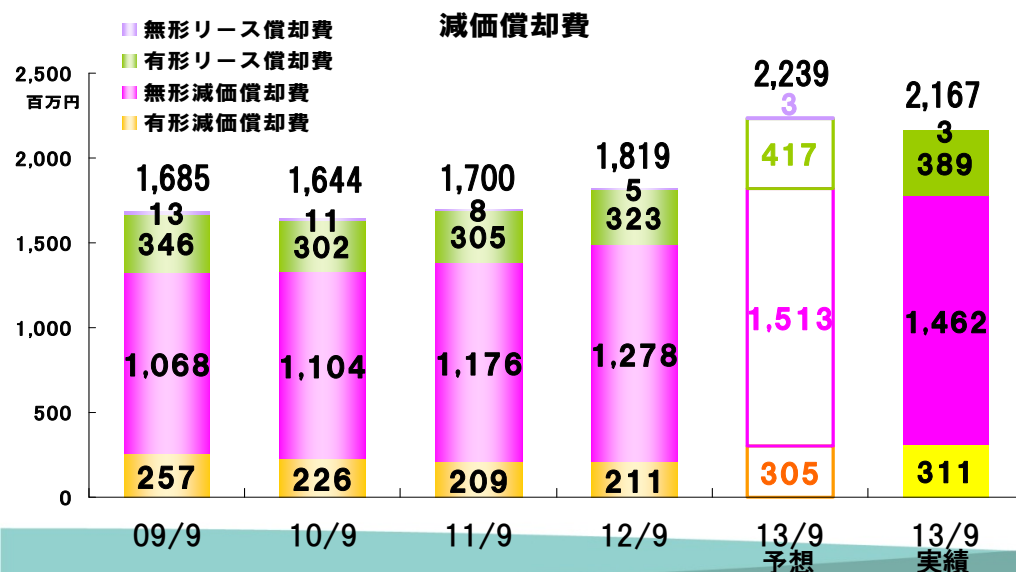
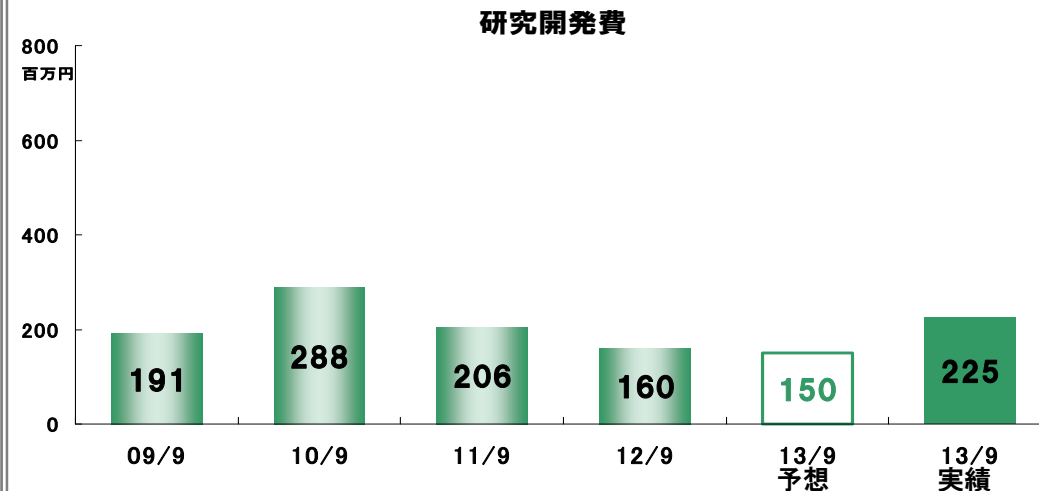
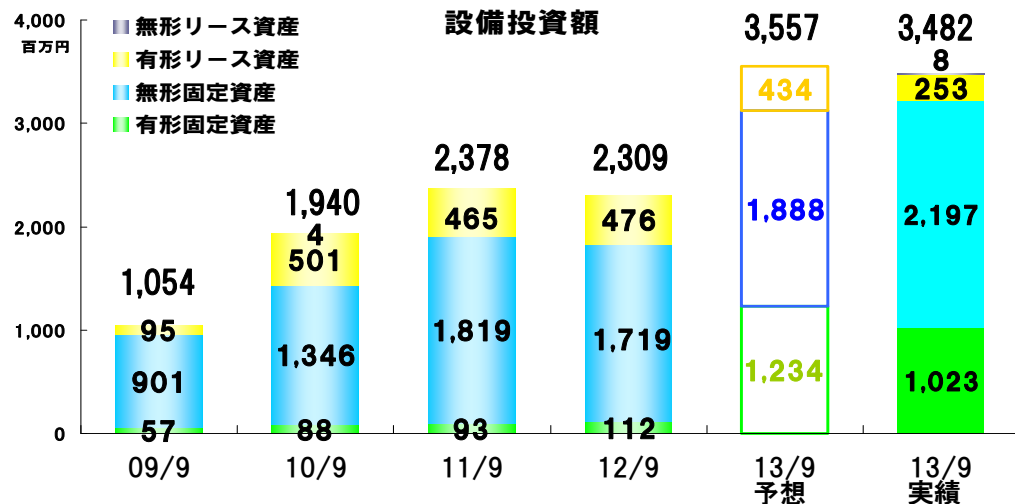
②2014年3月期 業績予想の概要（※2013年5月説明資料の抜粋）

- ・ 売上高・利益の推移
- ・ 営業利益増減要因（前期比）
- ・ セグメント情報
- ・ 設備投資額・減価償却費・研究開発費

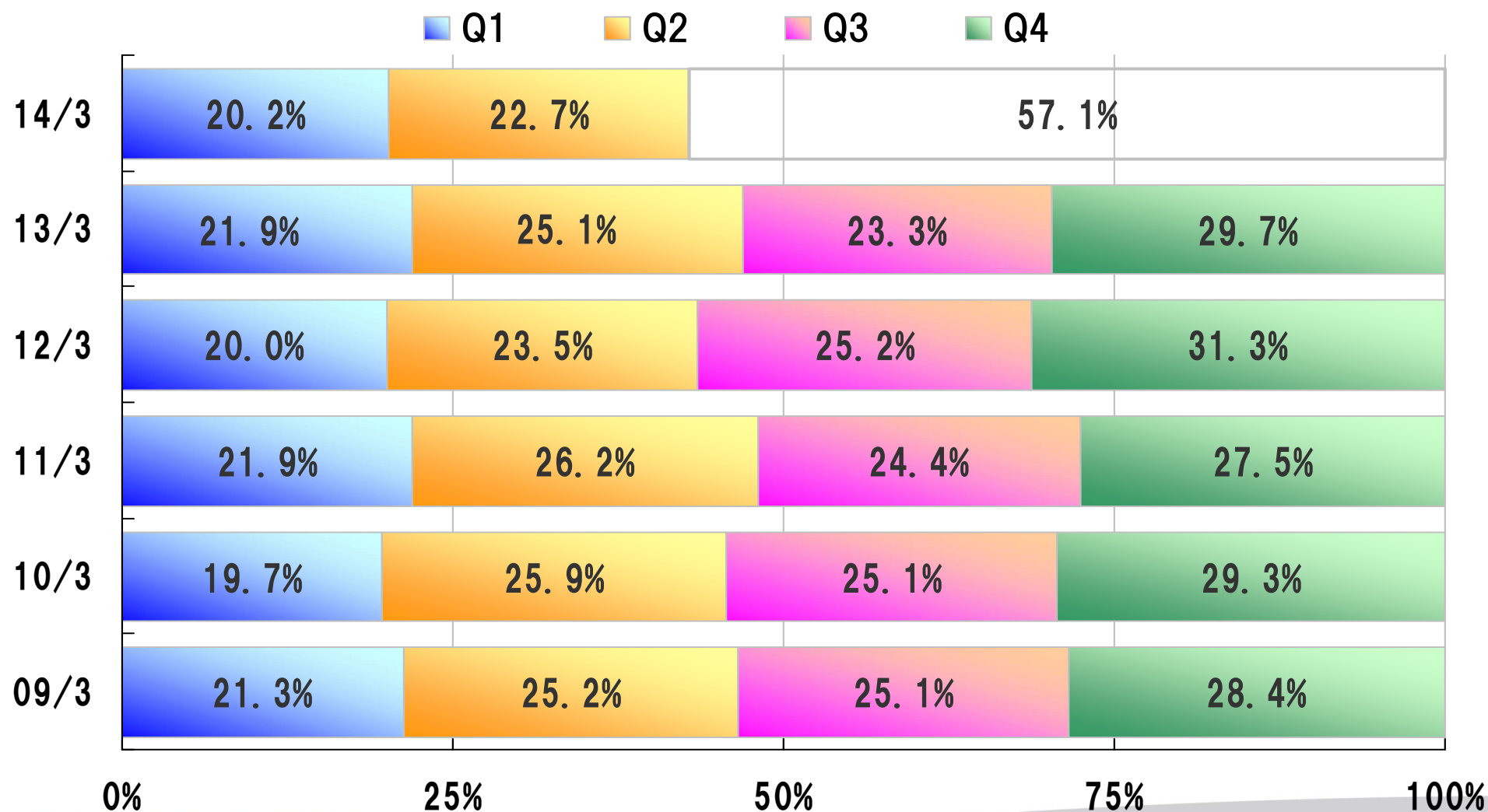
③ZGP2015の進捗（※2013年5月説明資料の抜粋）

- ・ 基本構成と数値目標
- ・ 事業戦略並びに進捗状況（各事業）
- ・ 時空間DBとViewmap DBの先行投資

設備投資額・減価償却費・研究開発費



四半期売上高構成比 推移



売上高・利益の推移

売上高

営業利益

経常利益

当期純利益

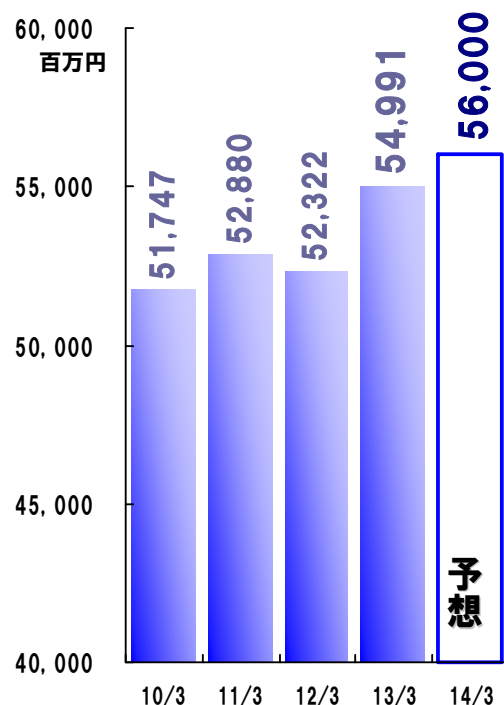
前期比

1,008増加 (1.8%)

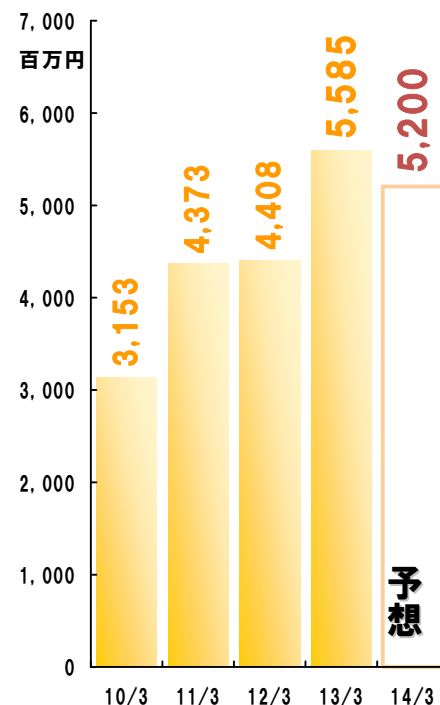
385減少 (△6.9%)

423増加 (8.3%)

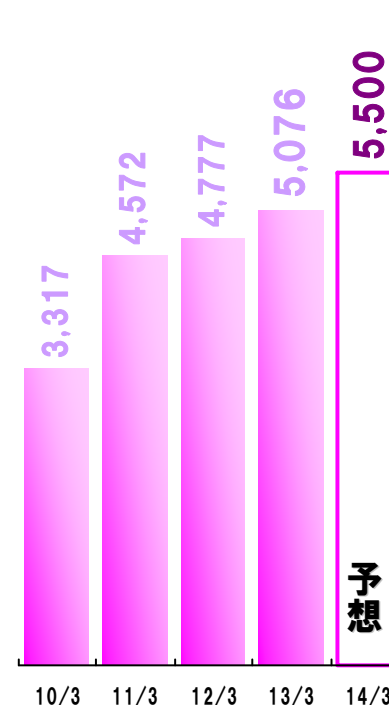
664増加 (36.2%)



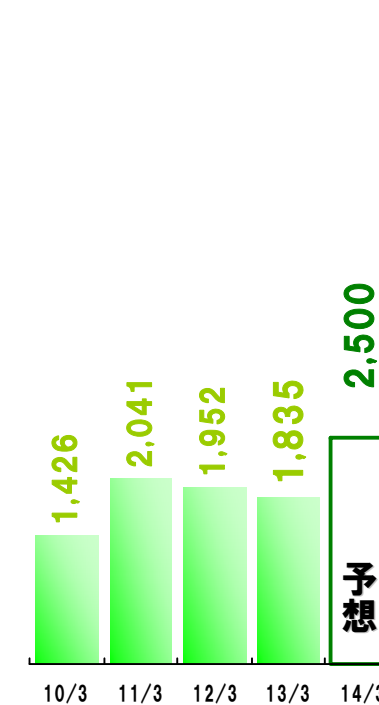
2期連続の増収



4期ぶりの減益



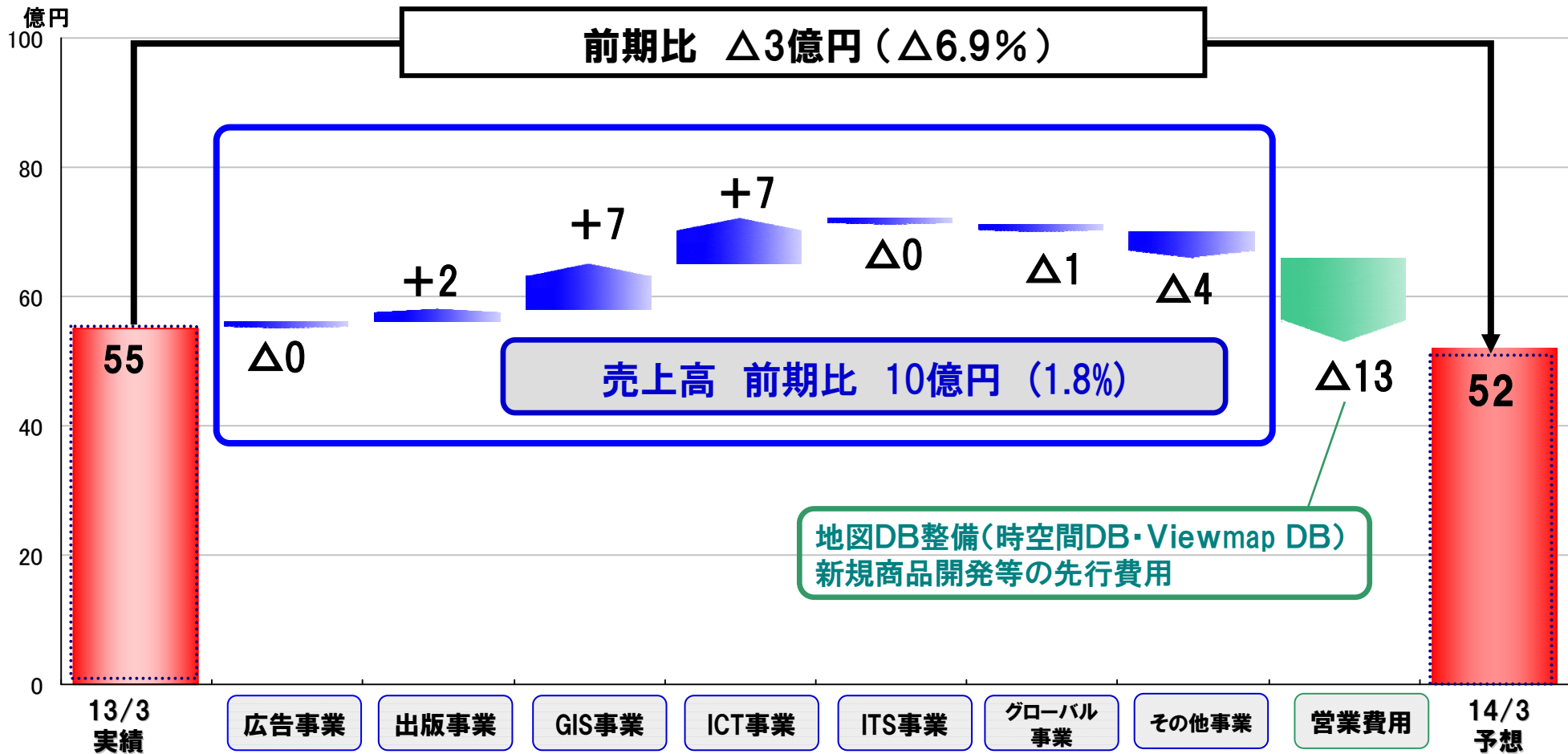
4期連続の増益



3期ぶりの増益

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

営業利益増減要因(前期比)



※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

セグメント情報

売上構成
比率

87.3%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



6.8%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



5.9%

3. その他

主要品目等：仕入商品、ノベルティ商品、CAD受託処理



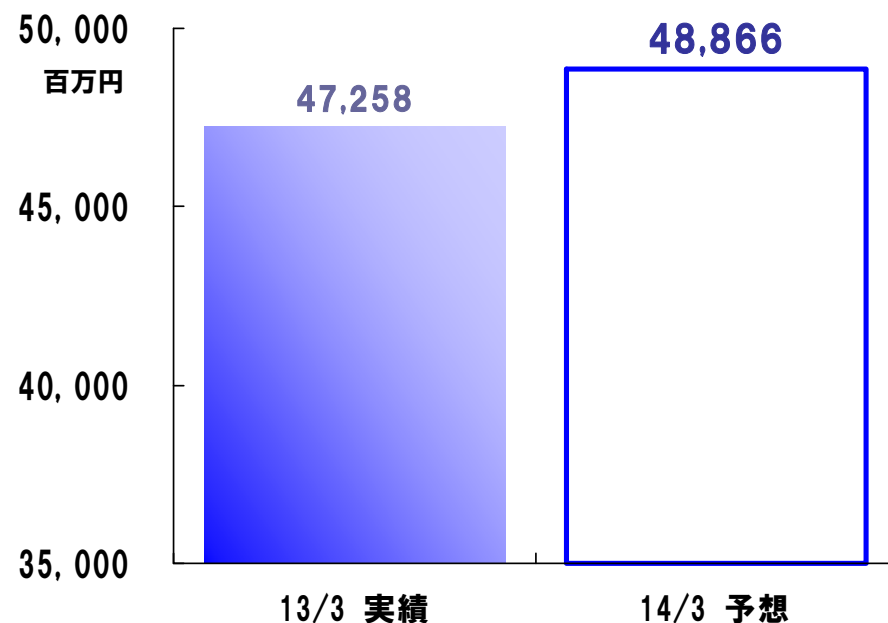
※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

地図データベース関連事業

売上高

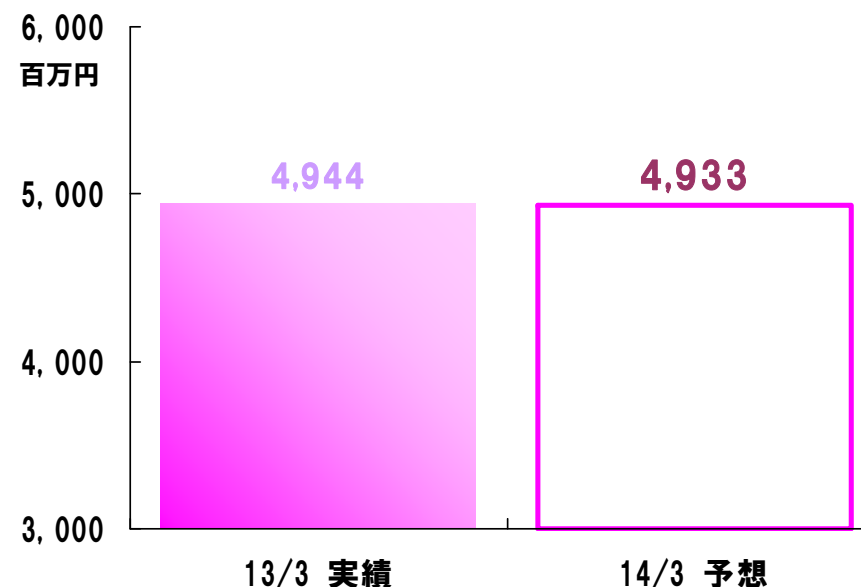
前期比

1,608増加 (+3.4%)



営業利益

10減少 (△0.2%)



前期比

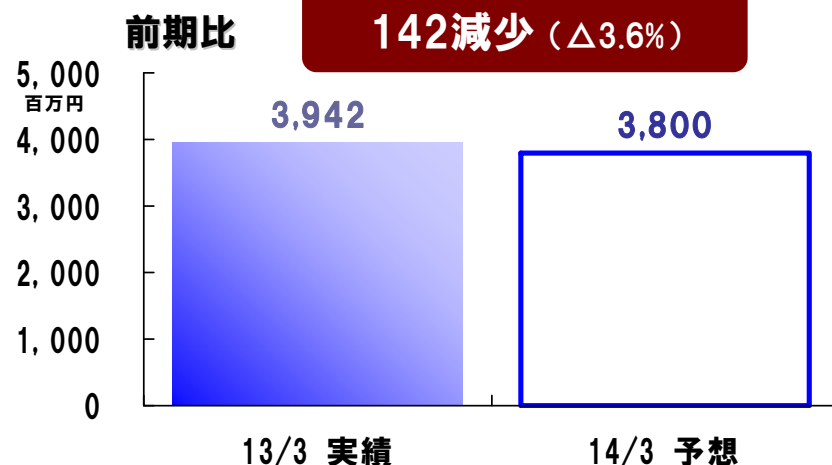
- GIS事業における用途開発による増収。
- ICT事業はスマートフォン向けサービスが堅調に推移。
- 時空間DB及び新規地図DBの整備費用、新商品開発等の営業費用が先行。

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

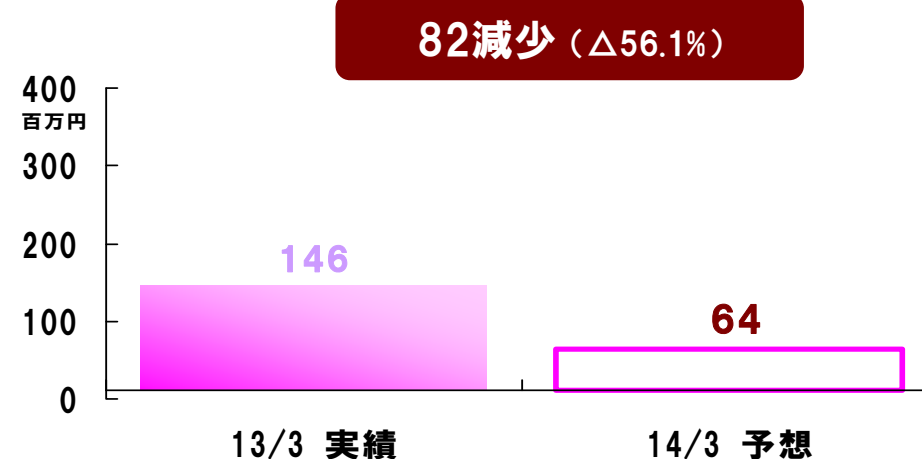
一般印刷関連事業・その他

一般印刷関連事業

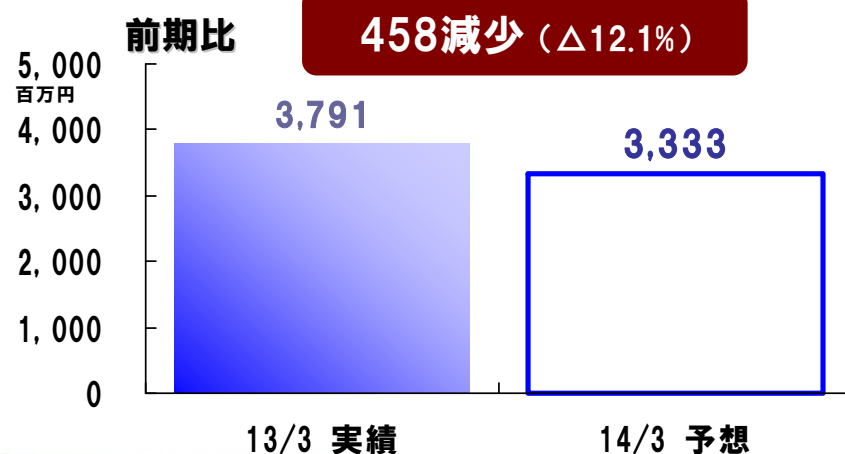
売上高



営業利益

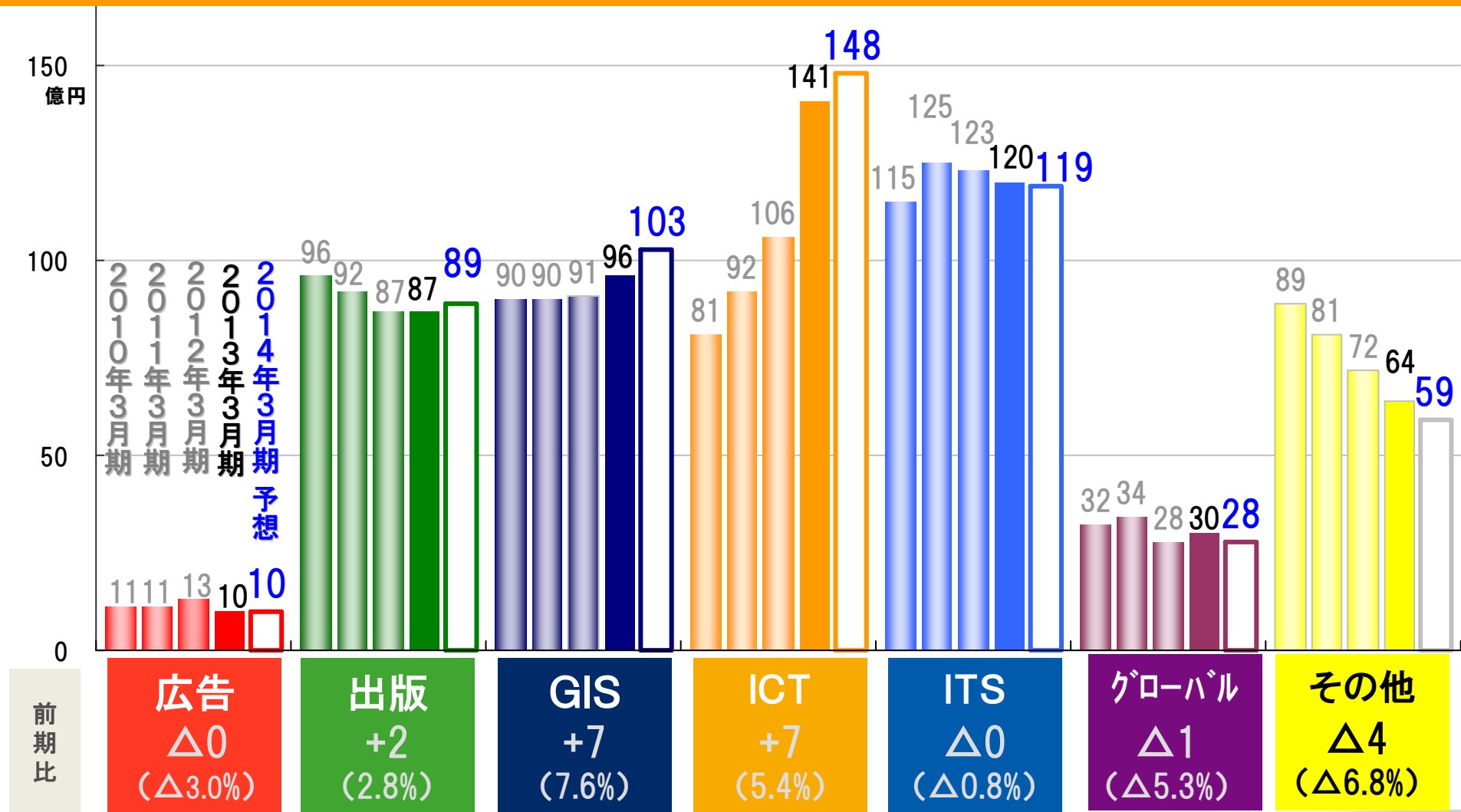


その他



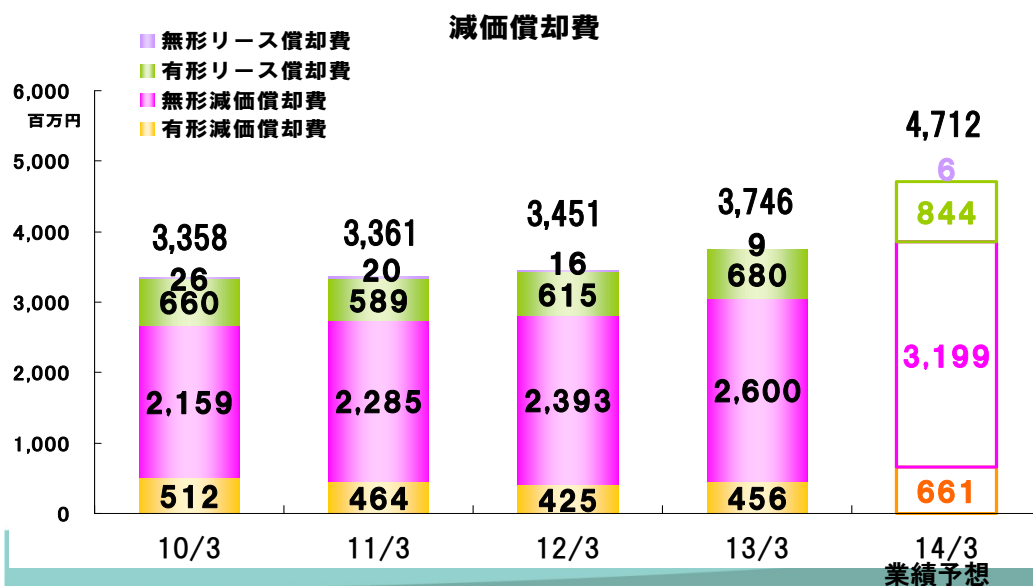
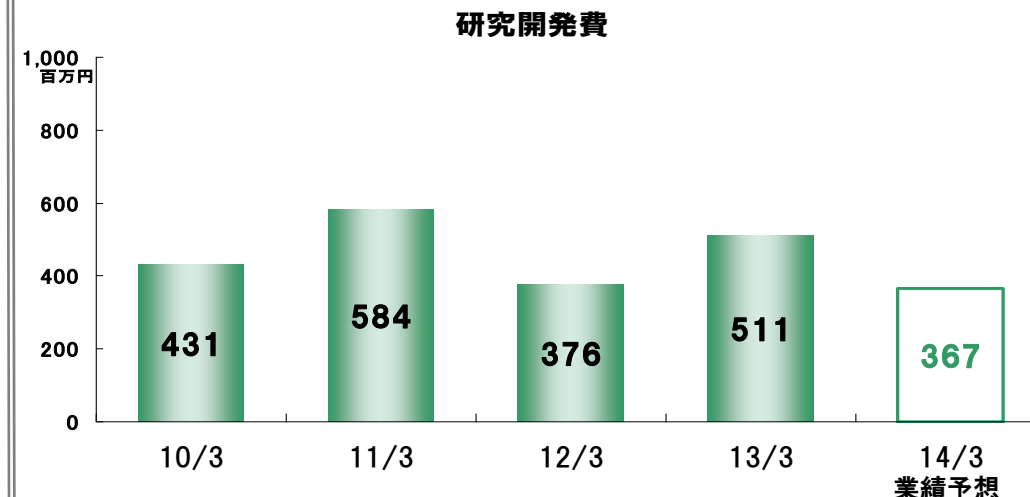
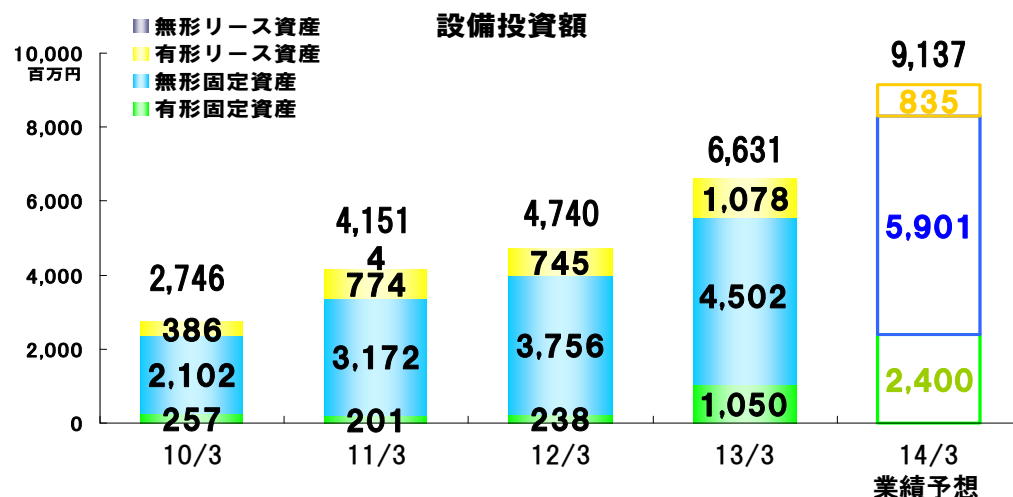
※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別売上高



※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

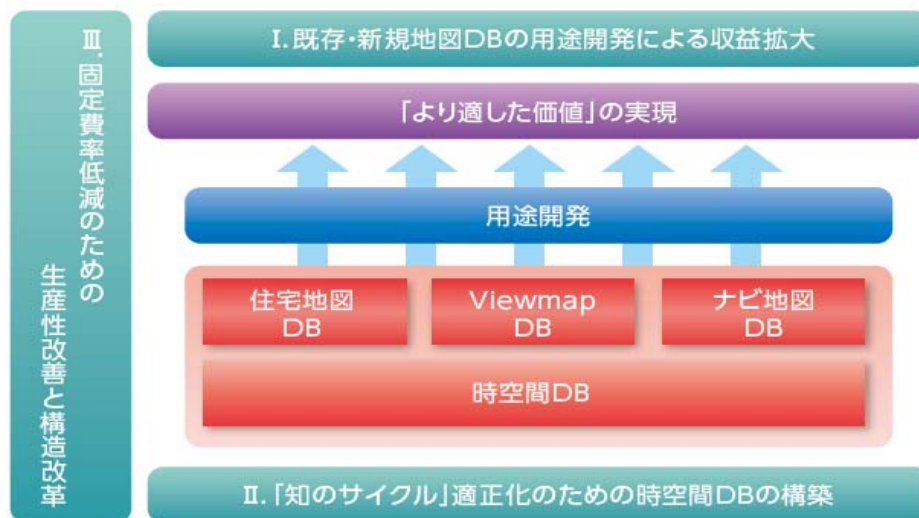
設備投資額・減価償却費・研究開発費



※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

基本構成と数値目標

<基本構成>



I. 既存・新規地図DBの用途開発による収益拡大

地図情報を含む様々な情報の利活用における用途開発を推進します。既存の住宅地図DBとナビ地図DB分野に加えて、双方の地図DBノウハウを踏襲した新規地図DB「Viewmap DB」を整備し、新たな価値ある商品・サービスを積極的に提供することで、収益拡大を目指します。

Ⅱ. 「知のサイクル」適正化のための時空間DBの構築

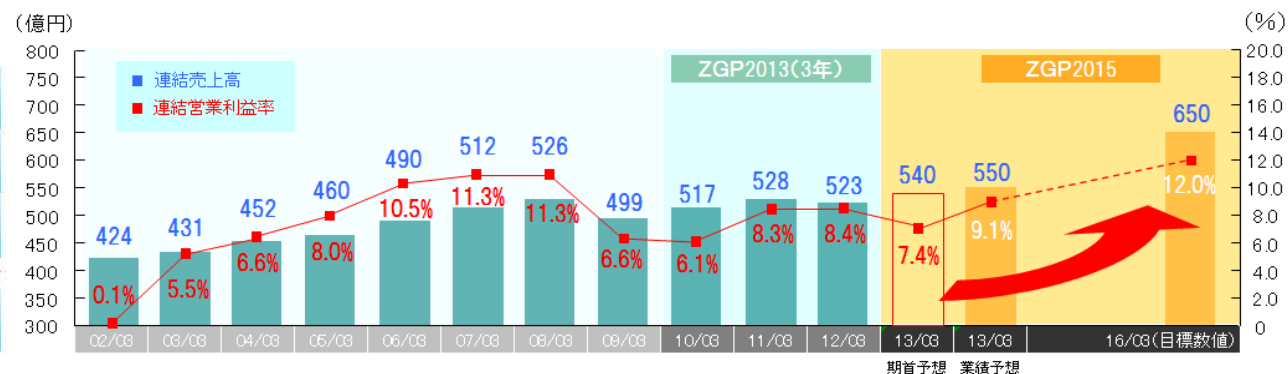
当社は長年培ってきたノウハウである、収集・管理・提供の「知のサイクル」によって、様々な商品・サービスを提供しています。今後はさらに、実世界に存在する全ての情報を時空間DBとして構築し、「キュレーション思考」によって「知のサイクル」を適正化することで、より強固な事業基盤を確立します。

Ⅲ. 固定費率低減のための生産性改善と構造改革

新規商品・サービスの開発に必要な投資は実行してまいります。生産性改善と構造改革によって、地図DBの開発・維持管理等の固定費率の低減を実現します。

<目標数値>

	2011年度 (2012/3期)	2015年度 (2016/3期)
連結売上高	523億円	650億円
連結営業利益率	8.4%	12.0%
(参考) 連結営業利益	44億円	80億円レベル



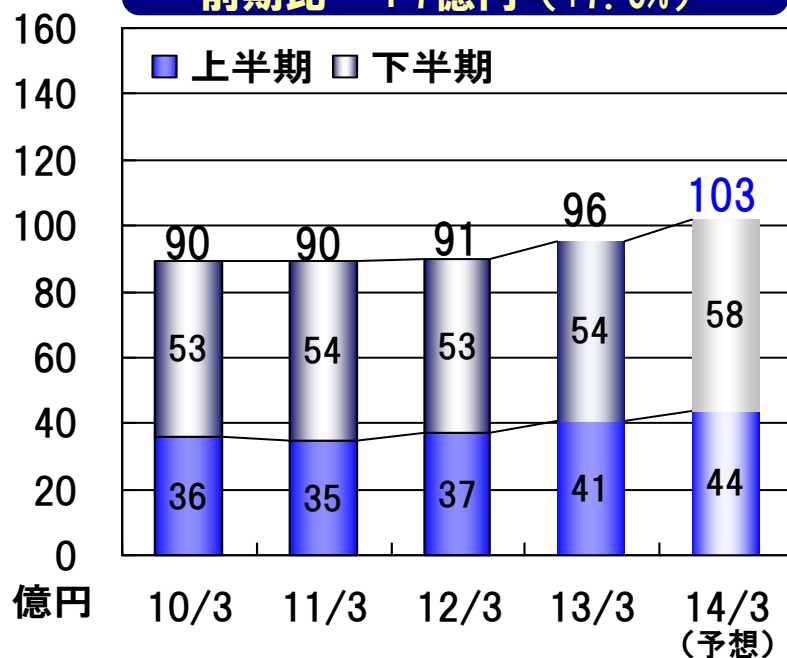
事業戦略並びに進捗状況<GIS事業>

売上高・営業利益拡大

事業機会と戦略方針

地図DBとあらゆる情報が
結びつくGIS市場で収益拡大

2014年3月期 売上高予想
前期比 +7億円 (+7.6%)



【売上高概況】

- ◇2013/3期実績
 - ・既存商品は増加するも新商品の市場投入が遅延
- ◇2014/3期予想
 - ・前期比+7億円の103億円

ZGP2015の最優先事業として用途開発を強化

- ◆商品開発
 - ⇒業種や業務に特化した簡易GISのパッケージ商品
- ◆営業戦略
 - ⇒GISを専門としたパートナーとの連携強化に加え
全国の営業拠点での展開による拡販

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

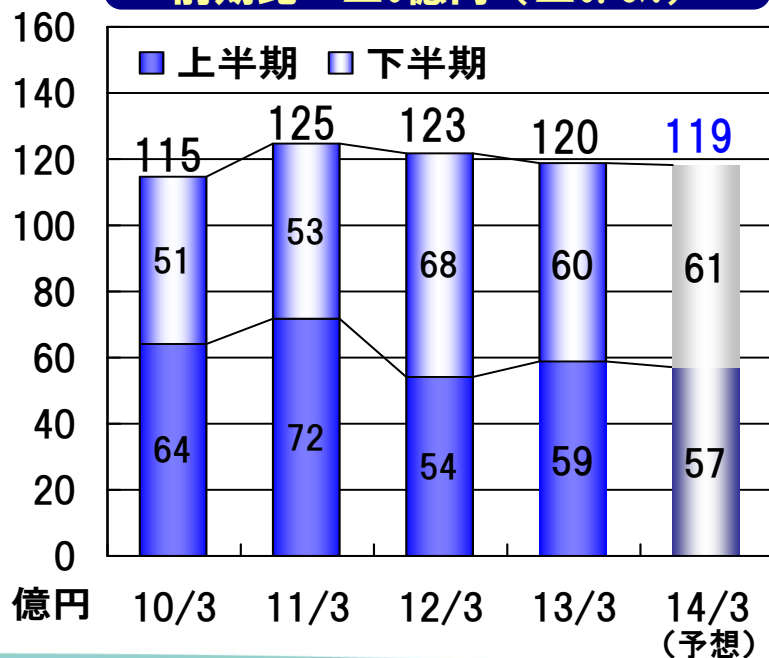
事業戦略並びに進捗状況<ITS事業>

営業利益額の維持・安定

事業機会と戦略方針

ナビの多様化と装着率向上に
対応した継続的利益確保

2014年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 0$ 億円 ($\Delta 0.8\%$)



【売上高概況】

◇2013/3期実績

- ・エコカー補助金の反動減、カーメーカー及びナビメーカーの動向による影響等で減少

◇2014/3期予想

- ・売上維持の119億円

市場構造の変化に対応しシェアを維持

- ◆高精度地図搭載拡大
⇒純正カーナビ分野でITS実現に向けた開発強化
- ◆スマートフォン連携ナビ向けアプリ開発
⇒マルチモーダルコンテンツ開発の推進

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

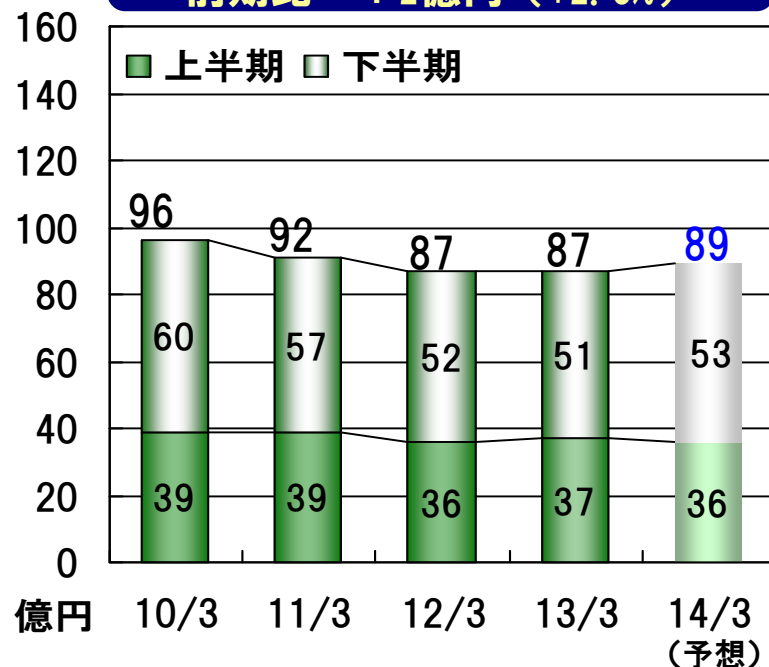
事業戦略並びに進捗状況<出版事業>

営業利益率の改善

事業機会と戦略方針

顧客情報蓄積と活用による
安定的収益確保

2014年3月期 売上高予想
前期比 +2億円 (+2.8%)



【売上高概況】

- ◇2013/3期実績
 - ・住宅地図帳販売が下げ止まり傾向
- ◇2014/3期予想
 - ・新商品の市場投入で前期比+2億円の89億円

ユーザーの最適な価値を創造

- ◆商品企画
 - ⇒明確なコンセプトによるC向け商品の企画開発
- ◆営業開発
 - ⇒顧客とのリレーション強化による企画商品展開

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

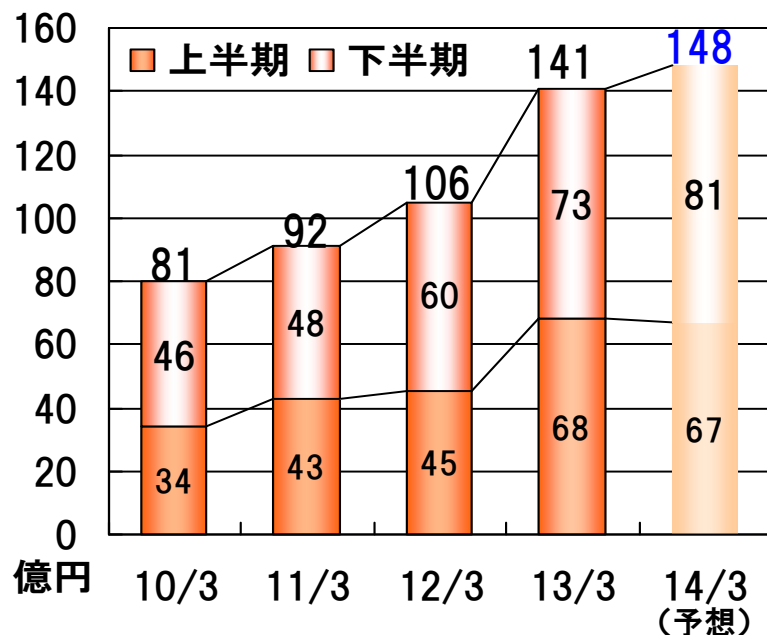
事業戦略並びに進捗状況<ICT事業>

市場シェアの拡大

事業機会と戦略方針

多様化するWebサービスへの地図提供と自社サービスによる市場拡大

2014年3月期 売上高予想
前期比 +7億円 (+5.4%)



【売上高概況】

◇2013/3期実績

- ・スマートフォン向けサービス
「ドコモ地図ナビ powered by いつもNAVI」の有料会員数増加により、前年比+35億円(33.2%増加)

◇2014/3期予想

- ・有料会員を維持し、前期比+7億円の148億円で、ZGP2015の最終年度目標値を超える売上予想

位置情報とその情報を見える化する地図情報の活用

- ◆自社プラットフォームと他社プラットフォームの共存戦略

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

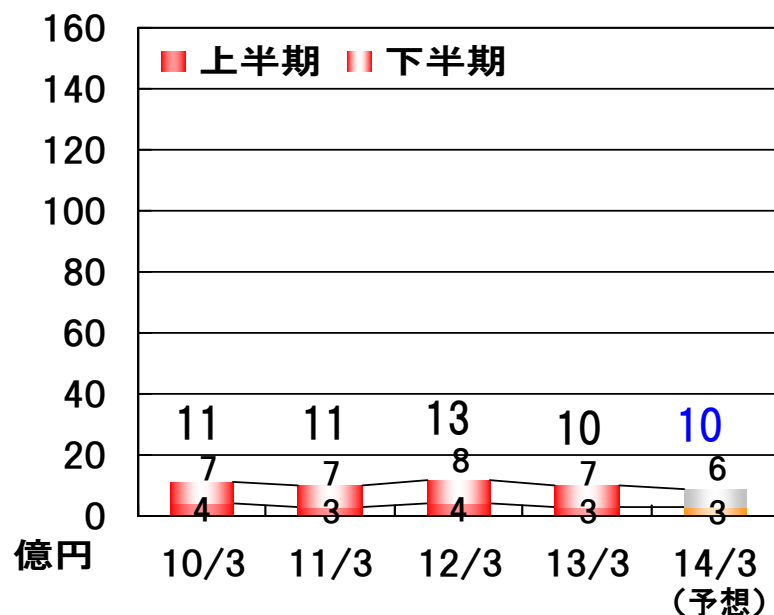
事業戦略並びに進捗状況<広告事業>

限界利益額の拡大

事業機会と戦略方針

新たな戦略の実行による
収益改善

2014年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 0$ 億円 ($\Delta 3.0\%$)



【売上高概況】

◇2013/3期実績

- ・コミュニケーションメディア事業「Actiz」の情報誌 mi-ru-toを65地区発行するも売上貢献は限定的

◇2014/3期予想

- ・前期と同水準の10億円の予想

広告事業の再構築

- ◆仕様変更や拡販により限界利益を確保するレベルとなるも利益貢献に至らず
⇒mi-ru-toは、2014/3期20地区の発行をもって終了
- ◆地域での広告市場における戦略の再構築

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

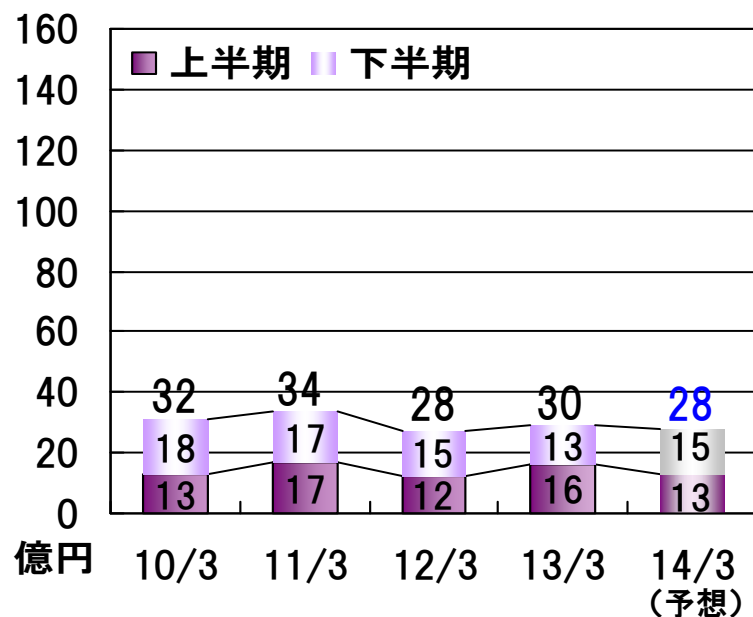
事業戦略並びに進捗状況<グローバル事業>

インド市場の創造

事業機会と戦略方針

新たなビジネス領域としてインドを中心とした新興国での事業基盤を構築

2014年3月期 売上高予想
前期比 Δ 1億円 (Δ 5.3%)



【売上高概況】

- ◇2013/3期実績
 - ・北米市場の好況により増収
- ◇2014/3期予想
 - ・前期比 Δ 1億円の28億円

インド市場で本格展開

- ◆現地に支店を開設し、情報収集・日系企業の対応を強化
- ◆スマートフォン向けサービスのリリース

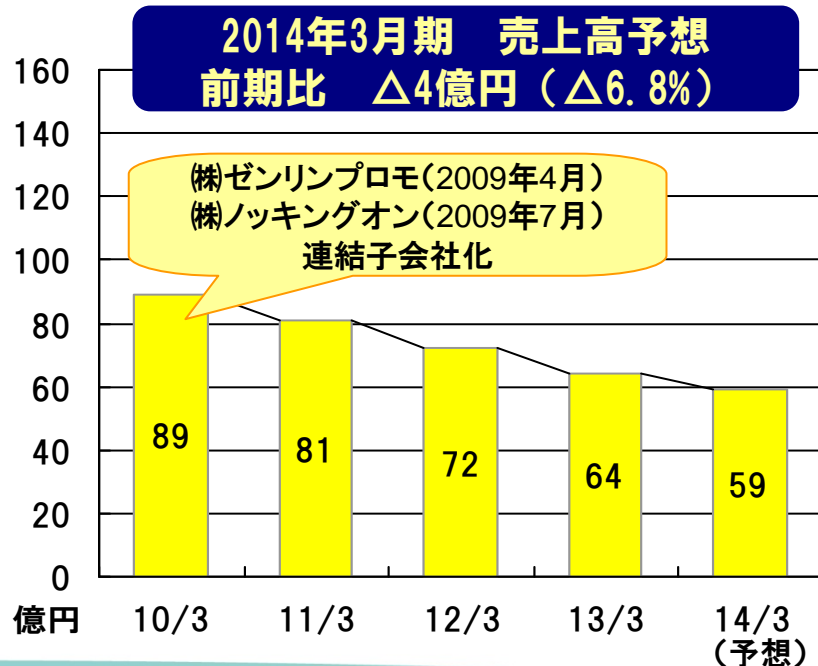
※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

事業戦略並びに進捗状況<その他事業>

その他事業の概要

連結子会社が行う各種事業を集約

- ・商業印刷
- ・企業向けノベルティ商品
- ・インターネット広告



【2013年3月期概況】

連結子会社(株)ノッキングオン清算

- ・2009年7月にアフィリエイト広告事業を展開する同社を連結子会社化
- ・携帯向けアフィリエイトの市場縮小に伴い、売上規模が縮小
- ・同社インターネットサービスの一部を(株)ゼンリンデータコムへ移管し、解散を決議
- ・3月29日同社清算終了

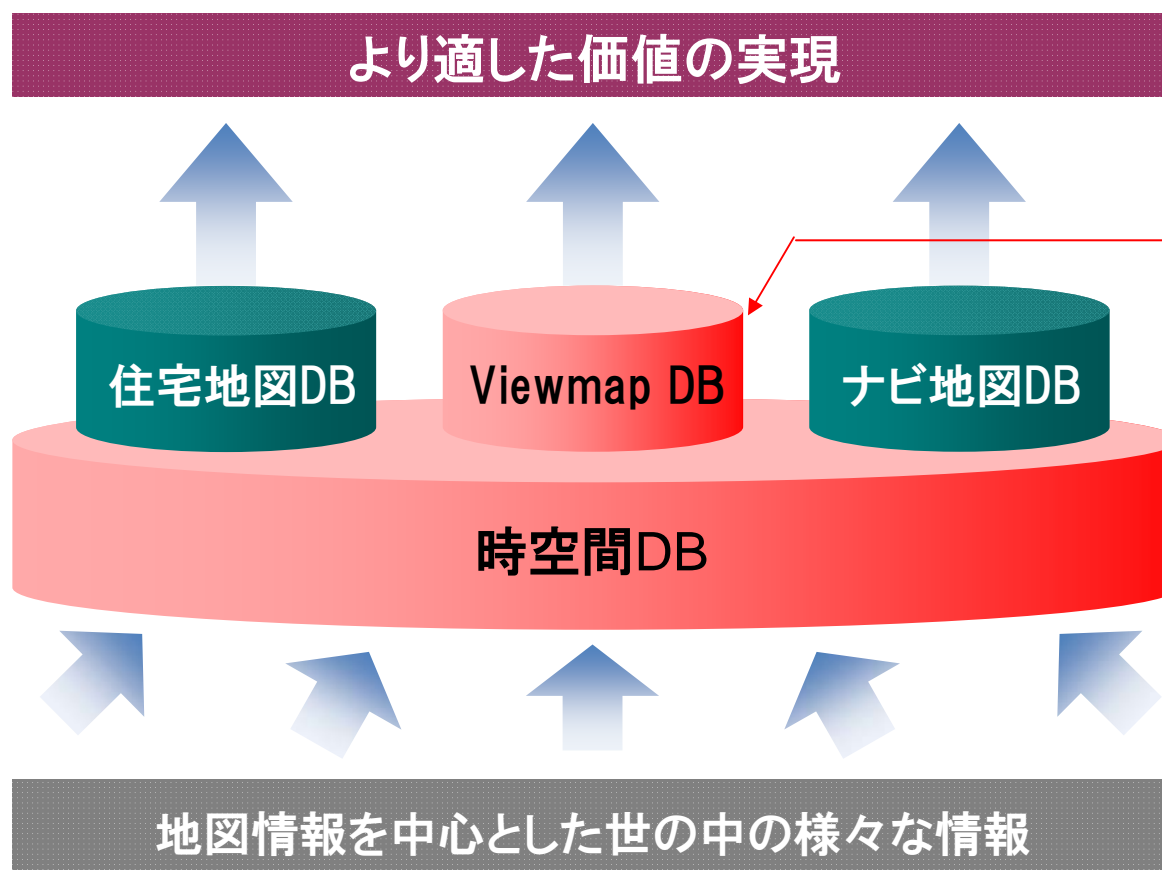
【2014年3月期予想】

売上高概況

(株)ノッキングオン清算、(株)ダイケイのCAD業務縮小等により前期比 $\Delta 4$ 億円の59億円

※予想は2013年5月8日に発表した数値です。

時空間DBとViewmap DBの先行投資



■より適した価値を実現するための
中長期的DB戦略に基づく先行投資

■Viewmap DB整備

機能的な2D地図と、直感的な3D地図を
バランス良く組み合わせ、
多様化する利用シーンや用途に合わせ
柔軟な表現を可能とする。

■時空間DBの構築

様々なサービスや商品の提供を可能とする
新たなDB構造を構築。

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp